

(一社)田辺市熊野ツーリズムビューロー関係

資料2-2-1 (一社)田辺市熊野ツーリズムビューロー提出資料

資料2-2-2 DMOの取組状況に関する調査 回答

資料2-2-3 日本版DMO形成・確立計画



熊野古道に外国人観光客を呼び込む着地型観光

～世界に開かれた持続可能な観光地を目指して～



田辺市の概要 TANABE CITY



田辺市概要

- 面積…1026.91km² うち森林面積88.4%
※和歌山県の22% 近畿で一番広い面積の市
- 人口…約74,000人

田辺市へのアクセス

- 電車…JR新大阪駅から紀伊田辺駅まで約2時間強
- 自動車…大阪から南紀田辺インターチェンジまで
140km、約2時間 関西空港から1.5時間
- 飛行機…羽田空港から南紀白浜空港まで約1時間



田辺市熊野ツーリズムビューローの経緯

Our History

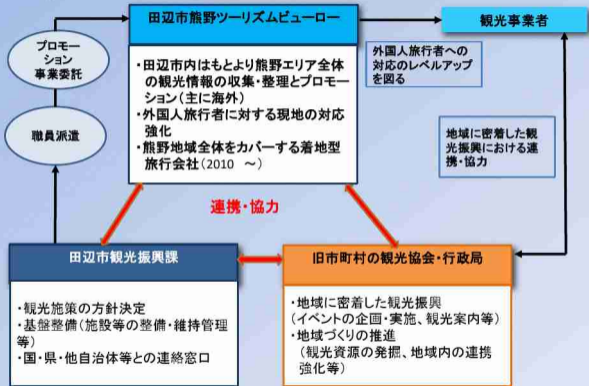
- 2004. 07. 07 世界遺産登録「紀伊山地の霊場と参詣道」
- 2005. 05. 01 市町村合併により、新田辺市誕生
- 2006. 04. 01 田辺市熊野ツーリズムビューロー設立
- 2010. 05. 18 法人格(一般社団法人)取得
- 2010. 07. 26 旅行業法に基づく第2種旅行業取得(和歌山県知事登録 旅行業第2-283)
- 11. 10 インターネットによる旅行予約システム開始(DMC)
- 2017. 08. 09 熊野トラベル店舗運営開始(トラベルカウンター開設)
- 2018. 06. 27 理事を観光協会以外にも拡大 ……→日本版DMOに向けての足がかり





役割分担

Division of roles





- 「ブーム」より「ルーツ」
- 「乱開発」より「保全・保存」
- 「マス」より「個人」
- 「インパクト」を求めず「ローインパクト」で
- 世界に開かれた「上質な観光地」に
⇒ インバウンドの推進



持続可能で質の高い観光地「田辺市」！
High Quality, Sustainable Tourism Destination

目的意識を持って旅をする
人たちに「熊野」に来てもらいたい

ターゲットは欧米豪のFIT



外国人を呼び込むには外国人の感性が必要



国際観光推進員
Brad Towle ブラッドトウル

International Tourism
Promotion and Development Director

現地のレベルアップ

TOURISM DEVELOPMENT



ローマ字表記

Romaji

- 英語(ローマ字)が標記してあれば何とかなる。
- 見慣れた文字(特に母国語)があると安心する。
- 少しの心遣いで、大きく違う。

3 Toganoki-jaya Teahouse

Toganoki-jaya is a traditional teahouse which serves tea and sweets along the Kumano Kodo pilgrimage route.

樽之木茶屋は熊野古道沿線の傳統茶店・提供茶和甜點。

도가노키 자여는 전통 차집으로, 구마노 고도 순례 코스를 지나는 도중 대가를 즐기기에 좋습니다.



- ☎ 0739-65-0127
- 📍 413 Nonaka, Nakahechi-cho, Tanabe City
- 🚶 30 min. walk from Nonaka Ipposug bus stop
- 🕒 From around 11:30 till sunset
- 📄 None scheduled
- 🚗 2 cars (Free)
- 💳 Credit cards not accepted



【General Information】 ☎: 0739-26-9025 www.tb-kumano.jp/en



ローマ字表記

Romaji

大塔

- Ootou
- Otoh
- Outou
- Ohto
- Ohtoh
- Ôto
- Otou
- Ôto



Oto

熊野本宮大社

- Kumano Great Shrine
- Hongu Shrine
- Hongu Grand Shrine
- Hongu Taisha Shrine
- Kumano Great Taisha
- Kumano Hongu Taisha

など19通り



Kumano Hongu Taisha

A photograph of a misty forest path. The path is made of dirt and is surrounded by lush green ferns and tall, thin trees. The mist is thick, creating a soft, ethereal atmosphere. The text is overlaid on the image.

熊野古道

Kumano Kodo

Kumano Ancient Road
Old Road of Kumano
Kumano Trail
Historic Trail to Kumano
Kumano Sankeimichi
Kumanokodou
Kumano pilgrimage route
Kumano Kodoh
Kumano Kodō
Kumano Kaido



現地のレベルアップ（看板整備前）

Signs Before





🌀 現地のレベルアップ(看板整備 後) Signs After



現地のレベルアップ (セミナー・現地研修) Workshops

のべ60回に及ぶ
ワークショップ

英語が
しゃべれなくても
大丈夫！

- 宿泊関係者
- 交通関係者(JR・バス会社)
- 観光案内所スタッフ
- 市内5観光協会スタッフ
- 田辺市役所観光関係担当者
- 熊野本宮大社(神職・巫女)

厚生労働省補助金活用



現地のレベルアップ

(周辺マップ / ホテル案内「コミュニケーションツール」) Area Map / Information

湯の峰温泉 Yunamine Onsen

〒990-0001 秋田県大館市湯の峰1-1-1
TEL: 0186-73-1111

つばね湯 Trakaru Bath

1980 年に完成されたといわれ、日本最大の湯舟が特徴の、30 畳の露天風呂です。その雄大な湯舟から、湯舟の縁を踏みながら多くのお客様が汗を流して、爽快感を感じています。湯に「70℃以上」の熱湯が注ぎ込まれて、お湯は常に沸騰して湯気が立ち上ります。

HIRANOYA RYOKAN 平の家 旅館

Welcome to Trakaru, please enjoy your stay with us.
ようこそ 田舎へ

Plan	料金	備考
One night, two meals 一泊二食付	¥7,000	+ per person including tax ※一人単位のみ + Please pay at check-out in cash (Japanese yen only) + Credit cards are not accepted. 現金はチェックアウト時にお願いたします。
One night, morning meal 一泊朝食付	¥5,000	カーブ対応はしておりません。現金でお願いたします。(日本円)
One night, no meals 一泊無食付	¥4,500	

Check in (チェックイン)	15:00	+ Please complete the hotel registration form in your room.
Check-out (チェックアウト)	10:00	客室にお帳簿を用意しております。ご記入ください。

Meal

Dinner meal is served in your room. Morning meal is served on the 1st floor.
夕食はお客様へお持ちします。朝食は1階のお部屋です。

We do not prepare lunch boxes but if you want, the one we use averages 8 for one, ¥500.
昼食の準備は出来ませんがご希望の場合はお取り寄せ致します。(1650円からです)

Plan	料金	備考
Bath class at 2500, お風呂は午後11時まで	¥2,500	The bath is open in the morning from 8:00-9:00. 朝は午前9時から11時まで
Discontinued bath is not an option. (風呂ではありません)		

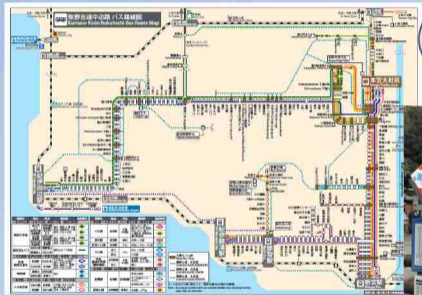
Other notes

There is a washing machine in the bath changing room. Please tidy up it.
Please do not use the washing machine late at night as it disturbs our guests.
お風呂の洗濯機は夜間のご利用をお願いしております。深夜は湯に自由にお入り下さい。静寂です。



現地のレベルアップ (バス会社)

Bus Route Map



バス会社4社
JR西日本
近畿運輸局
和歌山県



観光庁訪日外国人旅行者受入環境緊急対策事業補助金 と和歌山県観光局補助金



現地のレベルアップ (英語メニュー) English Menus

bulado

Grunt dishes いさぎ料理

Between ¥800 ~ 1,000 まで

~Size of dish depends on size of fish~
~大きさによります~

Vinegared grunt, with miso

1 いさぎの酢みそ

Pieces of grunt, slow simmered in sweet broth

2 いさぎのあら煮

Deep fried with citrus vinegar sauce

3 いさぎのから揚げ (ボンズ)

Grunt, sautéed

4 いさぎの造り

Grilled grunt

5 いさぎの焼物



Complements of the Tanihara
City Nakatsu Taishin Buisan
www.kb-kumamoto.jp



Nagare-ko dishes ながれこ料理 (abalone species)

Between ¥1,200 ~ ¥2,000 まで

~Size of dish depends on size of shellfish~
~大きさによります~

6 Raw nagare-ko

ながれこ造り

7 Charcoal-grilled nagare-ko

ながれこはうらく焼

8 Tempura

ながれこ天ぷら

Sautéed with soya sauce and sake rice wine

9 ながれこわかき焼

10 Salt-grilled

ながれこ塩焼

11 Butter-grilled

ながれこバター焼

12 Tempura

ながれこ天ぷら



Deep fried dishes 揚げもの

a

Deep fried crab topped with thick sauce

13 カニからあげのあんがけ (5貫) ¥1,200

Half Tasty red king crab, タラバガニ大

Crab meat pieces, deep fried

14 カニから揚げ ¥1,400

Half Tasty red king crab, タラバガニ大

Fried tofu

15 揚げ豆腐 ¥300

Our original: 湯豆腐元祖です。

Fried tofu with egg sauce

16 揚げトフ玉子かけ ¥400

Recommended dish, おすすめ。

Ushagi net tempura

17 うなぎ天ぷら ¥900

Whole whitefish, fried

18 がしらから揚げ ¥800-
より

Small oketep, fried

19 小えび唐揚げ ¥400

Large prawn, breaded and fried
(with a special sauce)

20 エビフライ (タレがちがう) ¥1,200

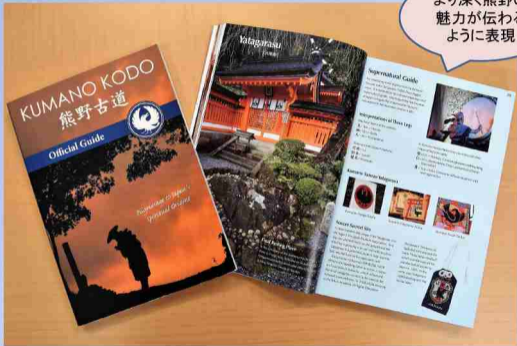
Breaded and fried pork cutlet

21 トンカツ ¥1,500



熊野古道オフィシャルガイドブック(英語版)

より深く熊野の
魅力が伝わる
ように表現



文化庁文化遺産総合活用推進事業(平成29~33年度)

情報発信
PROMOTION

現地のレベルアップ
TOURISM DEVELOPMENT

経済波及効果(2006~2010)

Effect

広告換算 **約 8億 6,000万円**

※メディア(各種媒体)露出による広告費換算(期間:2006.4~2010.5)

媒体種類	広告費換算(単位:円)	回(本)数
新聞・雑誌・HP	280,596,389	354
テレビ	579,419,744	180
合計	1,457,212,215	534

情報到達人数 **約 1億 5,853万人**

※情報到達延べ人数(人) (期間:2006.4~2010.5)

内訳(%)

関西	関東	中部・東海	九州・沖縄	東北・北海道	中国	四国	北陸・信越
47.0	16.0	10.0	7.0	6.0	5.0	5.0	4.0

※メディアリサーチセンター(株)発行「メディアデータ」及び各媒体資料による。

※海外メディアの露出のほとんどは測定不能により上記に含まない。



知名度が高まるにつれ・・・

Tasks seen

- ・熊野古道を歩きたいけれど、どうやっていけばいい？
- ・旅の行程をどう組めばいい？
- ・日本語がしゃべれない(英語が通じない)

⇒ 熊野は行き難い

歩く仕組みがないのに、無責任に
プロモーションだけをしていた



課題の解決策

The solutions

■世界中からの個人旅行者に対する行き届いた対応が必要

- ・ 宿泊等の予約&決済&キャンセル等のシステム
- ・ 個人旅行者に対するプランニングのサポート
- ・ 現地での対応(アテンド・ガイド・サポート等)
- ・ 市域・県域を越えた**広域連携**など...

解決策

熊野地域全域をカバーする **着地型旅行会社** の設立

Kumano Area Destination Management Company

※ハイリスク&ロー(ノー)リターンで、大手旅行会社でも手を出さない仕事
※ビジネスとしては成立しにくい

情報発信

PROMOTION

着地型旅行会社

DESTINATION MANAGEMENT COMPANY

現地のレベルアップ

TOURISM DEVELOPMENT



着地型旅行業

Destination Management Company



KUMANO
TRAVEL

- ・ FIT(外国からの個人旅行者)に対応
- ・ 熊野の旅行手配をワンストップで
- ・ WEB予約決済
- ・ 市域、県域を越えた旅をサポート
- ・ 着地(地元)の現地情報やネットワークを活かしたきめ細かなサポート
- ・ 新しいサービスや雇用の創出
- ・ 手数料等が着地(地元)にとどまる

旅行者・観光事業者だけでなく、
地域の人が満足、
うれしい！



熊野の地に暮らす人々の笑顔あふれる暮らしと地域を支える

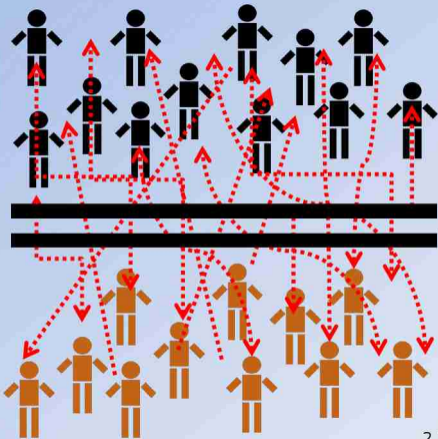
Support and respect local residents and community in Kumano

外国人(個人)
旅行者

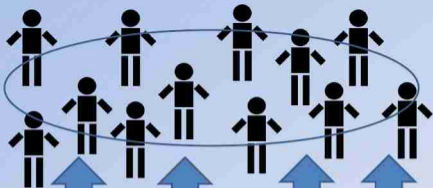
大きな
ふたつの壁

- ①言葉
- ②決済

地元・地域
(観光関連事業者)

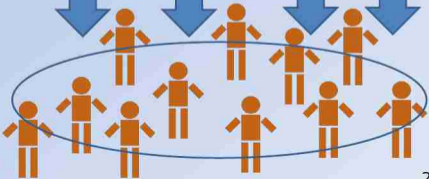


外国人(個人)
旅行者



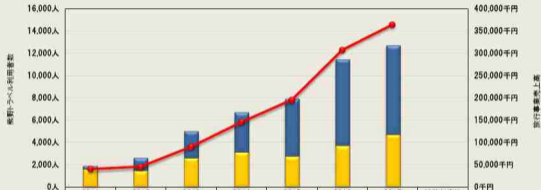
田辺市熊野ツーリズムビューロー

地元・地域
(観光関連事業者)





【熊野トラベル利用者数 及び 旅行事業売上高】



	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	対前年度比
外国人	291人	1,159人	2,405人	3,569人	5,164人	7,744人	7,978人	103.0%
日本人	1,616人	1,463人	2,603人	3,118人	2,748人	3,698人	4,699人	127.1%
合計	1,907人	2,622人	5,008人	6,687人	7,912人	11,442人	12,677人	110.8%
旅行事業売上高	40,013千円	45,494千円	89,973千円	145,559千円	195,256千円	307,053千円	363,972千円	118.5%

■予約利用状況件数(2017.04～2018.03) ※ネット利用のみ

【国別予約状況】61ヶ国

日本	オーストラリア	アメリカ	イギリス	カナダ	フランス	スペイン	ドイツ	その他
13.2%	15.9%	14.3%	8.5%	5.1%	5.0%	5.0%	4.1%	28.9%

◇設立当初から欧米豪をターゲットとした戦略

◇1人あたりの泊数 2.7泊(国内1.6泊 海外2.8泊)

◇1人あたりの単価 25,815円(国内12,929円 海外27,809円) ※外国人の客単価は日本人の約2.2倍

【利用施設エリアデータ】 ◇本宮エリアを中心に「世界遺産(熊野古道)」への予約が中心

本宮	中辺路	那智勝浦	新宮	田辺	十津川(奈良)	高野山	龍神	白浜	その他
33.1%	27.2%	13.9%	11.4%	8.4%	3.2%	1.6%	0.8%	0.1%	0.3%

■契約事業者数 ()は内 田辺市内

2018.10月現在

宿泊施設	語り部・体験 他	交通機関・飲食店他	合計
136(74)	27(17)	22(17)	185(108)



森野への旅は、
地域に密着した私たちにお任せください。

林野地を中心に、紀伊半島南部を広域的にカバーする地域観光会社。一般は法人個人で林野ツアー（ズムビ）ロープが運営する予約サイト「KUMANO TRAVEL」です。映画を切り取った私たちだけの「モアノコース」からお宿やサービス、オプションツアーを組み合わせたり、更におオプションツアーのみでも簡単に予約しやすくなります。安心してお利用ください。

🔍 検索





入込客数（観光動態調査）

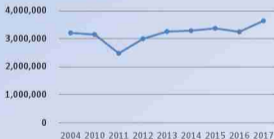
Tourism Statistics

	2004	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
宿泊	444,128	367,585	301,940	331,801	362,870	415,164	443,532	407,427	441,686
日帰り	3,204,140	3,146,822	2,476,870	2,993,773	3,255,207	3,284,401	3,366,555	3,243,161	3,195,837

宿泊



日帰り



※ 2004 世界遺産登録 2011 震災・台風

※各観光協会調べ





観光戦略の基本スタンス

Our Stance

地域の価値
が高まる

- 「ブーム」より「ルーツ」
- 「乱開発」より「保全・保存」
- 「マス」より「個人」
- 「インパクト」を求めず「ローインパクト」で
- 世界に開かれた「上質な観光地」に
⇒ インバウンドの推進

地域の誇り
が再構築

持続可能で質の高い観光地「田辺市」！
High Quality, Sustainable Tourism Destination

地域への広がり

Spread into the region



道普請


- ・ 地域のボランティア
- ・ 企業のCSR活動



語り部ジュニア


熊野古道沿いの小・中学校
総合教育の一環として



 田辺市
観光センター

地元高校生の活躍



 商店街おもてなし講座
(外国人旅行者)

主催：商工振興課





移住者が棚田で米作り 熊野古道周辺の景観を守る

和歌山県田辺市中辺路町高原で、移住者らが世界遺産・熊野古道を歩く人たちにとっても魅力の一つとなっている棚田で米作りに取り組んでいる。住民が高齢となって稲作を続けるのが難しくなってきたため2年前に父親のふるさとに移住した柏崎さくらさん(30)＝中辺路町高原＝ら30～40代の「若手」が昨年からスタート。

メンバーは「地域の景観を守りたい」と意気込んでいる。



(紀伊民報 2016/06/07 WEBより抜粋)



救急・緊急対応

報伊民報 2014年(平成)26年6月27日 金曜日 第215号

外国人からの119番

田辺、白浜 消防本部 同時通訳、7月から

5カ国語で24時間対応

田辺市消防本部は、外国人からの119番通報に対応するため、7月から同時通訳サービスを開始する。対応可能な言語は英語、中国語、韓国語、タイ語、ベトナム語の5カ国語となる。このサービスは、24時間いつでも利用可能で、通訳は専任の通訳員が担当する。また、通訳料は無料である。このサービスは、外国人からの119番通報に対応するための重要な取り組みであり、外国人からの119番通報に対応するための重要な取り組みである。

田辺市消防本部は、外国人からの119番通報に対応するため、7月から同時通訳サービスを開始する。対応可能な言語は英語、中国語、韓国語、タイ語、ベトナム語の5カ国語となる。このサービスは、24時間いつでも利用可能で、通訳は専任の通訳員が担当する。また、通訳料は無料である。このサービスは、外国人からの119番通報に対応するための重要な取り組みであり、外国人からの119番通報に対応するための重要な取り組みである。

報伊民報 2018年(平成)30年4月11日 水曜日

救急出動に備え調査

熊野古道 潮見町越

熊野古道の潮見町越区画整理事業が進捗している。消防本部は、この区画整理に伴って発生する可能性がある火災や事故に対応するため、調査を実施している。調査の結果、火災や事故の発生リスクを低減させるための対策を講じていく予定である。

熊野古道の潮見町越区画整理事業が進捗している。消防本部は、この区画整理に伴って発生する可能性がある火災や事故に対応するため、調査を実施している。調査の結果、火災や事故の発生リスクを低減させるための対策を講じていく予定である。

2018年4月から
和歌山県内全域
10カ国語対応



これまでの取組にかかる国・県の支援策

- ① ワークショップ関係
厚生労働省雇用関係の補助金
- ② 予約システム
当初(H21)～総務省 ユビキタス関係補助金
更新(H28～29)～内閣府 地方創生交付金
- ③ まちなび(音声ガイド)
国土交通省
- ④ 英語メニュー(居酒屋マップ)
中小企業庁
- ⑤ トイレ、看板、観光案内所、Wi-Fi
和歌山県観光局、環境省(バイオ式トイレ)
- ⑥ 熊野古道オフィシャルガイドブック、マップ等
文化庁文化遺産総合活用推進事業
- ⑦ 熊野エリアの二次交通対策
観光庁訪日外国人旅行者受入環境緊急対策事業
と和歌山県観光局



「まちじゅう観光！」＝地域全体に広がる観光

All Encompassing Tourism

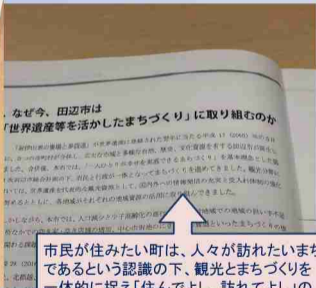
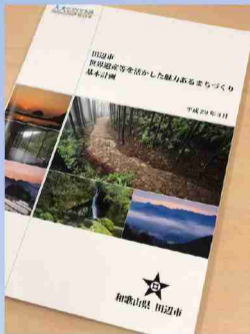


● は、従来の狭義的な観光協会等の組織構成



田辺市の指針

世界遺産等を活かした魅力あるまちづくり 基本計画 平成29(2017)年3月



市民が住みたい町は、人々が訪れたいまちであるという認識の下、観光とまちづくりを一体的に捉え「住んでよし、訪れてよし」のまちづくりに取り組みます。

地域への広がり

Spread into the region

地域とのつながり

Connect with the community



新たな展開

New Challenges

熊野トラベル店舗の開設

2017. 8. 9 オープン

当日予約・決済ができるトラベルカウンター

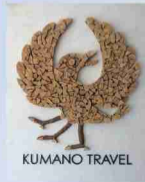
荷物の一時預かり&運搬 グッズ販売





■熊野トラベル店舗が果たす役割

1. これまで、対応出来ていなかったサービスを提供
⇒ 観光客の利便性の向上。さらなるおもてなし力の向上
2. 駅前商店街にある空き店舗活用、パンフレットラックの設置
⇒ 商店街への人の流れを創出。地域の「稼ぐ力」の向上
3. 観光客と地域住民の交流の場を提供
⇒ 市街地を中心としたにぎわい創出





新たな展開

New Challenges

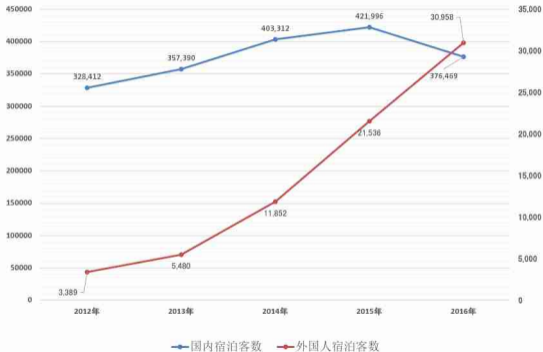
熊野古道女子部の立ち上げ 2017. 5.20 発足

熊野古道を歩いてくれる新たな顧客の開拓

熊野を楽しみながら、その魅力を広く発信する インフルエンサー



[参考]田辺市の宿泊客数の推移





これからの戦略

Next Challenges

- ① **熊野古道女子部の支援**
熊野古道を歩いてくれる新たな顧客の開拓
- ② **熊野古道 + (プラス)**
熊野古道周辺の観光資源を活用した
アクティビティーの開発(もう1泊、2泊伸ばす)
- ③ **熊野古道 × (クロス)**
熊野エリアにある技術や産品を組み合わせ
新たな熊野の商品を開発
- ④ **熊野古道 ∞ (インフィニティ)**
紀伊半島全域の熊野古道を歩けるように



地域への広がり

Spread into the region

着地型旅行会社

DESTINATION MANAGEMENT COMPANY

地域とのつながり

Connect with the community



今後の課題

The Biggest Challenge

最大の課題は、組織の持続可能性

人財と財源の確保

さらなる進化が必要です

和歌山県「田辺市」には世界文化遺産の熊野古道や温泉など、景の魅力が満載。

有熊山を中心とする田辺市は、熊野古道、大滝、大宮山。

自然豊かな雄大な山々、温泉が楽しめる田辺市は、日本の自然遺産、熊野古道や温泉など、景の魅力が満載です。また、熊野古道や温泉など、景の魅力が満載です。

田辺市観光ツアープランはこちら <http://www.tb-kumano.jp/>

The Heart of Kumano Taisha City
 Kumano Taisha is the center of the Kumano Taisha Shrine.
 The site was added to the World Cultural Heritage List of the United Nations in 1992. The site was added to the World Cultural Heritage List of the United Nations in 1992. The site was added to the World Cultural Heritage List of the United Nations in 1992.



新しい面白い、
 つくりかたも色々
 田辺市観光ツアー



TANABE! A World Class Sightseeing Destination

田辺市! 世界的観光地

KUMANO TRAVEL

Official Community Reservation System

www.kumano-travel.com

KUMANO TRAVEL is an international award-winning community-based initiative; a bilingual (Japanese & English) online reservation system for the region.

SERVICES & PRODUCTS

- ◆ Accommodations Reservations
- ◆ Tours & Activities
- ◆ Local Guides
- ◆ Travel Services (eg. Luggage shuttle)
- ◆ Model Itineraries



WHY BOOK WITH KUMANO TRAVEL?

- ◆ Locally Owned & Operated
- ◆ Intimate Local Knowledge
- ◆ Quality Personal Service
- ◆ Freedom to Discover
- ◆ Responsible & Sustainable
- ◆ Secure Online Booking

Note: Reservations are required at least 7~10 days in advance.

Useful Words and Phrases

Hello	Konjwan	こんにちは	Goodbye	Sayonara	さようなら
Thank you	Arigato	ありがとう	Excuse me	Sumimasen	すみません
Do you speak English?	Can you speak English?	英語が話せますか?	Do you speak Japanese?	日本語が話せますか?	日本語はできますか?
I don't understand. / I don't know	Wakarimasen	わかりません	Is it OK to take a photo?	写真撮影してもいいですか?	
Yes	Ii	いい	No	Ii nai	いいえ
Would you please show me on this map where I am right now?	Kono chiri no ajiwaeni wa doko ni iru no deshou ka?	この地図で現在地を教えて下さい	Where is the XXXX?	XXXXはどこですか?	
Bus stop	Busrui	バス停	Trailhead	Trailhead	登山口
Help me!	Tasukete	たすけて!	I need a doctor	医者がいますか?	

110218 (Rev. 06/20)

KUMANO KODO

NAKAHECHI

Pilgrimage Route Maps



CONTENTS

Context	1	Itineraries	25
Overview	2-3	Access	26-27
Maps	4-21	Route Guide	28-31
Tips	22-24	Dual Pilgrim	31

KUMANO 熊野

Japan's Spiritual Origins

Kumano is an isolated sacred site of healing and salvation. It embodies the spiritual origins of Japan and has been a pilgrimage destination for centuries. The steep, lush mountains of the Kii Peninsula are blessed with a rich cultural and natural heritage. Walking the Kumano Kodo is an immersive Japanese experience for the intuitive, active traveler. Welcome!



Kumano Sanzan

The main sites of worship in the Kumano region are the three Grand Shrines of Kumano: Kumano Hongu Taisha, Kumano Hayatama Taisha, and Kumano Nachi Taisha. As a set they are known as the Kumano Sanzan.



Kumano Hongu Taisha is situated in the heart of the Kumano. The austere shrine pavilions were originally located at Oyunohara, a sand-bank in the Kumano-gawa River.



Kumano Hayatama Taisha is located in Shingu city, where the impressive Kumano-gawa River empties into the expanse of the Pacific Ocean.



Kumano Nachi Taisha is built on a mountain side facing the inspiring Nachi water fall, which is the tallest in Japan and believed to be a deity.

UNESCO World Heritage

On July 7, 2004 three sacred sites (Kumano Sanzan, Koyasan, and Yoshino-Okunoin) and the pilgrimage routes that lead to and connect them, were registered on UNESCO's World Heritage list as the "Sacred Sites and Pilgrimage Routes in the Kii Mountain Range".

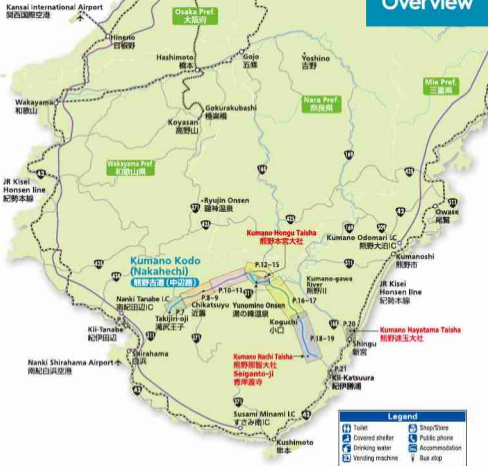
Kumano Kodo Pilgrimage Route

For over 1000 years people from all levels of society, including retired emperors and aristocrats, have made the arduous pilgrimage to Kumano. These pilgrims used a network of routes, now called the Kumano Kodo, which stretch across the mountainous Kii Peninsula.

Nakahechi Imperial Route

The Nakahechi route has a rich history and is characterized by 65 shrines found along its length. The earliest records of this route date from the beginning of the 10th century. It is the most popular route to the Kumano Grand Shrines and historically was extensively traveled by the imperial family on pilgrimage from Kyoto.

Overview



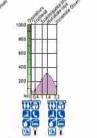
Nakahechi Main Route



Akagi-goe



Dainichi-goe



Segment	Distance (km)	Start Altitude (m)	End Altitude (m)	Notes
Takiji-ji - Takahara	0.0 - 3.0	0	430	P.7
Takahara - Tsuzukura-ji	3.0 - 8.0	13	450	P.8-9
Tsuzukura-ji - Inashirima-ji	8.0 - 11.0	14	480	P.10-11
Inashirima-ji - Kumano Hongu Taisha	11.0 - 13.0	7.5	480	P.12-13
Dainichi-goe	13.0 - 17.0	2	190	P.10-13
Akagi-goe	17.0 - 21.0	6.5	370	P.12-13
Kogumotori-goe	21.0 - 27.0	13	670	P.16-17
Ogumotori-goe	27.0 - 37.6	14	930	P.18-19

NOTE: The Kumano Kodo is a mountain trail, therefore walking times vary greatly depending on weather, season, personal experience, and fitness. Please plan accordingly for a safe walk, as many people underestimate the difficulty of the terrain.

Kogumotori-goe



Ogumotori-goe



Segment	Distance (km)	Start Altitude (m)	End Altitude (m)
Takiji-ji - Chikatsuyu-ji	0.0 - 3.0	14	470
Takiji-ji - Tsuzukura-ji	3.0 - 8.0	17	450
Takahara - Chikatsuyu-ji	8.0 - 11.0	10	480
Chikatsuyu-ji - Kumano Hongu Taisha	11.0 - 13.0	25	470
Tsuzukura-ji - Kumano Hongu Taisha	13.0 - 17.0	21.5	480
Kobara-koji bus stop - Kumano Hongu Taisha	17.0 - 30.0	19	1260
Doyukawa-bashi bus stop - Kumano Hongu Taisha	17.0 - 30.0	17	770

Legend

- Toilet
- Covered shelter
- Drinking water
- Vending machine
- Shop/Store
- Public phone
- Accommodation
- Bus stop

Tanabe Gateway to Kumano

Tanabe City is the historic and present day gateway to Kumano, a key location for both land and ocean transportation routes. It is a sleepy coastal city with a population of around 65,000, the largest in the south of the Kii Peninsula. Tanabe Bay is to the west with mountains rising in the East. Across the bay to the south is the Shirahara resort area.

Fishing and agriculture focused on Ume and orange production are the major industries. The mountains inland from the coast are covered with terraced orchards.

Access: JR Trains run daily from Kyoto and Osaka (~2.5 hrs)

Kii-Tanabe Station Area

The station area is the center of the older part of the city. Next to the Kii-Tanabe station is the Tanabe Tourist Information Center. Most of the other main sites are to the south-west of the station. Buses for the Kumano Kodo leave from Bus Stop 2 in front of the station.

TANABE Tourist Information Center

Hours: 9:00-18:00
(Open year-round)



Travel Support Center

The Kumano Travel shop is dedicated to supporting visitors onsite. It is located within short walking distance from the Kii-Tanabe station and is run by bilingual English/Japanese speaking staff. Services include luggage storage, luggage shuttle, accommodation reservations, etc. Outdoor gear and local souvenirs are for sale.



Hours: 9:00-18:00
(Open year-round)

Tokei-jinja

Tokei-jinja Shrine was established in 419 A.D and derives from Kumano Hongu Taisha. Many incidental and aristocratic pilgrims paid homage here praying for safe passage into the realm of Kumano. Because the Kumano deities were manifested in Tokei-jinja Shrine, some pilgrims did not make the voyage into the heart of Kumano, but prayed here, subsequently worshipping the Kumano Sanzaen from afar.



Ajikoji - Restaurant & Entertainment District

The entertainment area in front of the JR Kii-Tanabe station is called 'Ajikoji' and is packed with over 200 restaurants and Japanese style pubs (izakaya). Every alley is full of quaint places to eat and drink.



Tanabe is a safe place for non-Japanese speakers to fully experience delicious local cuisine in an authentic environment. Kamppai!

Restaurant Guide			
Local eatery	Full menu	Highland buffet restaurant	English Menu
Japanese Pub	Tea	Sake & Beer House	Pan food, Pastas etc.
1. Kireguchi 桐屋 0739-25-2612	07:30-25:00	2019-01	2019-01
2. Hachiko 八木 0739-24-5198	11:00-PM12:00	2019-01	2019-01
3. Kohoha 高尾山 0739-26-8180	11:00-PM12:00	2019-01	2019-01
4. Ichijouji 一十 0739-26-8811	11:00-PM12:00	2019-01	2019-01
5. Gomon 五右衛門 0739-24-9151	11:00-PM12:00	2019-01	2019-01
6. Wasabi わさび 0739-25-7288	11:00-PM12:00	2019-01	2019-01
7. Tokkur 徳久 0739-24-7952	11:00-PM12:00	2019-01	2019-01
8. Gincho hanten 銀十半纏 0739-22-3960	11:00-PM12:00	2019-01	2019-01
9. Ichijouji 一十 0739-24-8666	11:00-PM12:00	2019-01	2019-01
10. Yumbe 雲根 0739-24-8845	11:00-PM12:00	2019-01	2019-01
11. Yodogawa 淀川 0739-25-1782	11:00-PM12:00	2019-01	2019-01
12. Kametsu 勘定 0739-26-1081	11:00-PM12:00	2019-01	2019-01
13. Uogakoro 魚屋 0739-24-7822	11:00-PM12:00	2019-01	2019-01
14. Tokuro 徳久 0739-24-1871	11:00-PM12:00	2019-01	2019-01
15. Tatsumi zushi 辰巳 0739-23-4461	11:00-PM12:00	2019-01	2019-01
16. Yoshizushi 吉住 0739-22-2995	11:00-PM12:00	2019-01	2019-01
17. Horai zushi 蓬莱 0739-22-8834	11:00-PM12:00	2019-01	2019-01
18. Zan 善 0739-26-8551	11:00-PM12:00	2019-01	2019-01
19. Miyai 宮井 0739-26-3827	11:00-PM12:00	2019-01	2019-01
20. Yasuda 安田 0739-24-8250	11:00-PM12:00	2019-01	2019-01
21. Akiba Honren 赤井 0739-22-0005	11:00-PM12:00	2019-01	2019-01
22. Yetsu 夜 0739-22-8886	11:00-PM12:00	2019-01	2019-01
23. Sango's Iya 三郷 0739-81-7707	11:00-PM12:00	2019-01	2019-01
24. Akita 秋田 0739-22-0234	11:00-PM12:00	2019-01	2019-01



Tanabe

Takijiri-oji~Takahara

滝尻王子~高原



Distance (km) ~4
Time (hr) 2-3
Total Elevation Gain (m) ~430
Total Elevation Loss (m) ~260

----- Unpaved trail
—— Paved road



Kumano Kodo Signs

The Nakashechi route is well-signed in both Japanese and English. Please refer to your map and follow the signs to complete your walk safely.



Directional sign



Trail markers



Trail markers

Along each of the sections there are numbered sign posts every 500 meters marked with this icon on the maps. Most are brown wander sign posts, but in the southern portion of the Ogamotani-ike (1-17) they are made of stone.

KUMANO KODO KAN Pilgrimage Center

The Kumano Kodo Kan Pilgrimage Center, across the river from Takijiri-oji, is an information center with exhibitions on the Kumano Kodo and small outdoor shop. It is a good place to get an overview of the area before your walk.

Hours: 9:00-17:00
(Open year-round except new year's holidays)

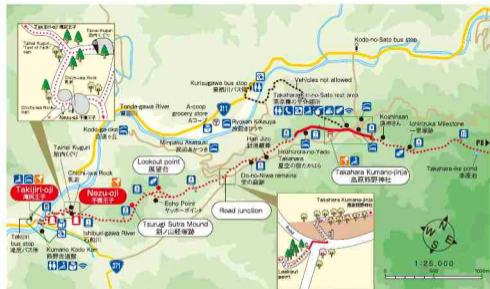


Legend		

Takijiri-oji



Takahara



Takahara~Tsuizakura-oji

高原~継桜王子



Distance (km) : ~13
Time (hr) : 6-8
Total Elevation Gain (m) : ~830
Total Elevation Loss (m) : ~650

----- Unpaved trail
—— Paved road



Chikatsuyu Village



Tsuizakura-oji (Nonaka Area)



Michi-no-Eki Kumano Kado Nakahachi
Hours: 8:00-18:30 (Closed Jan 1)
Michi-no-Eki are a network of rest areas across Japan. This is a good place to take a break. Drinks, snacks, and simple meals (such as noodles) are available.

Tsugizakura-oji~Hosshinmon-oji

継桜王子~発心門王子



Kobiro-toge Area



Walking Options from Chikatsuyu/Nonaka area

Full Walk:

Chikatsuyu-oji to Kumano Hongu Taisha ~25km, 9~12hr
 Tsugizakura-oji to Kumano Hongu Taisha ~21.5km, 8~11hr

Intermediate Walk (use local bus):

Kobiro-toge bus stop to Kumano Hongu Taisha 19km, 7~10hr
 Doiyugawa-bashi bus stop to Kumano Hongu Taisha ~17km, 6~9hr

Highlight Walk (use local bus):

Hosshinmon-oji to Kumano Hongu Taisha ~7.5km, 2~3hr
 For those staying at Yunomine Onsen you can add the Dainichi-goe ~2km, 1~2hr

LINK:

Bus timetable number one on the following list:
www.tb-kumano.jp/transport/bus



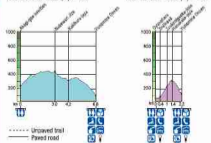
Hongu Area Walks



There are three sections of pilgrimage route in the Hongu area: the last section of the Nakahechi Main Route, Akagi-goe, and Dainichi-goe. The Hosshinmon-oji to Kumano Hongu Taisha is a popular highlight walk. By combining these three it is also possible to do a full day loop walk. This Hongu Loop walk is usually done in a clock-wise direction starting either in Yunomine Onsen or the Hongu townsite.

Akagi-goe 赤城越 Dainichi-goe 大日越

Distance (km) : ~6.5	Distance (km) : ~2
Time (hr) : 3-4	Time (hr) : 1-2
Total Elevation Gain (m) : ~460	Total Elevation Gain (m) : ~250
Total Elevation Loss (m) : ~320	Total Elevation Loss (m) : ~190

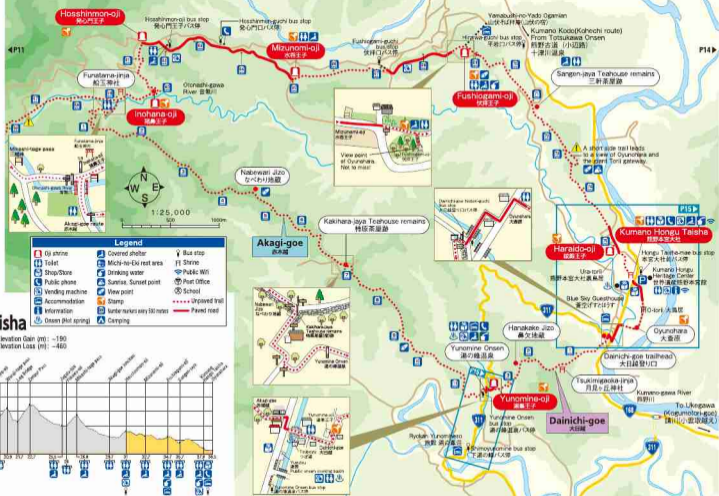


Hosshinmon-oji~Kumano Hongu Taisha

発心門王子~熊野本宮大社

Distance (km) : ~7.5
Time (hr) : 2-3

Total Elevation Gain (m) : ~190
Total Elevation Loss (m) : ~460



Legend		

Hongu Area



- Legend**
- Oj shrine
 - Toilet
 - Parking
 - Accommodation
 - Vending machine
 - Coin Locker
 - Bank
 - Shop/Store
 - Temple
 - Stamp
 - Camping
 - School
 - Police station
 - Fire Station
 - Post Office
 - Bus Stop
 - Unpaved trail
 - Paved road



Kumano Hongu Heritage Center

The Kumano Hongu Heritage Center is the focal point for visitor information in Hongu. There are two halls: North and South.

In the South hall is the tourist information center and permanent exhibitions about the World Heritage property "Sacred Sites and Pilgrimage Routes in the Kii Mountain Range".

The North hall features permanent exhibitions about the Hongu area, a multi-purpose hall and temporary exhibition space. Permanent exhibitions are bilingual Japanese and English.

This center is a must visit for those interested in learning more about the region's unique cultural landscape.

Hours: 9:00-17:00 (Open year-round)

Free Admission



Tsuboyu Bath

Tsuboyu is a historic bath in the creek near the center of Yunomine Onsen.

Capacity: 1-2 people
 Time: up to 30 minutes private use
 Price: 770 yen, 12 and under 460 yen
 Hours: 6:00-21:00

First come, first serve. Buy tickets at the counter near Toko-ji temple.
 ❖ No swimming suits, soap or shampoo allowed.
 URL: www.kumano.jp/en/onsen/yunomine/tsuboyu



Japan's Spiritual Hot Spring

Yunomine Onsen is an isolated hot spring tucked into a small valley. It is one of the oldest hot springs in Japan and intimately connected to the Kumano Kodo as pilgrims used the hot mineral waters for purification rites.



Kogumotori-goe (Ukegawa~Koguchi)

小雲取越(請川~小口)



Distance (km) : ~13
 Time (hr) : 4.5~6
 Total Elevation Gain (m) : ~670
 Total Elevation Loss (m) : ~690

----- Unpaved trail
 ——— Paved road

Ukegawa Access

Time & Distance to Ukegawa

From	Time	Distance
Kumano Hongu Taisha	1-2 hrs	~45 km
Yunomine Onsen	1 hr	~25 km
Watarase Onsen	1 hr	~45 km
Yunomine Onsen	1 hr	~45 km

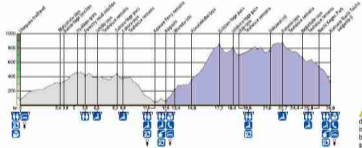


Koguchi Village



Ogumotori-goe (Koguchi~Nachisan)

大雲取越 (小口~那智山)



Distance (km) ~14
Time (hr) 7~9
Total Elevation Gain (m) ~1260
Total Elevation Loss (m) ~930

----- Unpaved trail
—— Paved road

NOTE: The Ogumotori-goe is a demanding day walk. Therefore it is important to start early in the morning, by at least 8:00. Please plan according so as not to get stuck in the dark.

Bus Access to/from Koguchi



Nachisan



◀P17



1:28,000
0 500 1000m

P20▶

Traditional Boat Tour

The Kumano-gawa was the main transportation route and pilgrims historically travelled between Kumano Hongu Taisha and Kumano Hayatama Taisha by boat.

There is a traditional boat tour which covers the lower half of this section of river, a unique way to experience the Kumano Kodo pilgrimage route by water.



Please arrive 30 minutes before departure.
Reservations required.

Dates: March to November
Morning: 10:00 - 11:30
Afternoon: 14:30 - 16:00
Price: 3,900 yen, 4-7 2,900 yen
Boat Center: Near "Michi-no-Eki Kumano-gawa 道の駅船野川" bus stop.

Address: Wakayama Prefecture, Shingu City, Kumano-gawa-cho, Tanago 54-8
電話: 0735-44-0987

Gotobiki-iwa, Kamikura-jinja

Halfway up the east side of Mt. Gongen there is a large monolith, it is known as Gotobiki-iwa, and it is believed that the Kumano deities first descended here.



Nestled under Gotobiki-iwa is Kamikura-jinja shrine. Perched on the cliff side it offers panoramic views of Shingu city and the Pacific Ocean.

An ancient stone staircase leads from the base of the mountain to Gotobiki-iwa and Kamikura-jinja. The first section has such a steep incline that many people need to use their hands to scramble up it.

Kumano Shingu Tourist Information Center

Hours: 9:00-17:00 (Open year-round)



Shingu

Katsura



Katsura Information Center

Hours: 8:30-18:00 (Open year-round)



Legend		

Kumano Kodo Tips

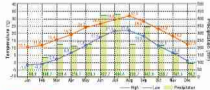
The Kumano Kodo (Nakahechi) is a diverse mountain route with a mixture of unpaved, uneven trails, ancient cobblestones and stairs, and paved roads through villages. There are many steep climbs and ascents, but the route is not technically difficult. The amount of preparation that is needed will depend greatly on which sections you will walk, the season you visit, and your personal level of experience and fitness. Please prepare accordingly to fully, and safely, enjoy your pilgrimage walk. Proper preparation is the essential.

Weather

The Nakahechi route is open year round. The weather in the southern portion of the Ki peninsula is generally mild. The winters can see some freezing temperatures, and snow falls rarely at the higher elevations, usually melting quickly. Summers can be hot, humid and wet. Be prepared for rain year round.

LINK

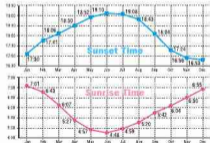
Japan Meteorological Agency: www.jma.go.jp/jma/index.html
Tanabe City Kumano Tourism Bureau:
www.tb-kumano.jp/en/kumano-kodo/weather/



Daylight

Daylight times vary greatly with winter having the shortest days. It is always best to leave early to arrive early, and be aware when sunset is so as not to get stuck in the dark while still on the trail.

NOTE: It gets darker earlier in the valleys where most of the villages are located. The best time to check-in to accommodations is 16:00-17:00.



Clothing & Footwear

Proper clothing and footwear are essential, especially if you are planning for a longer, multi-day trek.

Review the average temperatures for the time of your walk and be prepared for seasonal variability.

Dressing in layers in clothes that dry easily is recommended: avoid cotton. Sturdy, worn-in, walking footwear is essential.

Gear

The type of gear that you will need varies with the duration and extent of your walk. The following is a general list of recommended items.

- Day pack
- Rain gear (a foldable umbrella is convenient)
- Hat, sunglasses, sunscreen
- Collapsible walking poles
- Water bottle
- Camera
- Small first aid kit, with Band-Aids, etc.
- Small flashlight
- Maps



Water & Liquids

It is important to carry water or liquids during your trek or walk. Natural water sources along the trail have not been tested. In the villages and settlements are small shops or vending machines where drinks can be purchased. Especially during the hotter season, it is important to keep well hydrated.

HINT: Fill up your water bottles at the accommodations before departure.

Luggage Shuttle

Let us take a load off your back! There are a few local service providers who offer daily luggage shuttle service, perfect for walkers on the Kumano Kodo. ☺ Some restrictions apply.

LINK

www.tb-kumano.jp/en/kumano-kodo/luggage-shuttle/

Money/ATM

Carry enough Japanese yen in cash, as many facilities and service providers do not accept credit cards, and places to exchange money are limited. If you do need to withdraw money, the ATMs at the post offices are the best option. Hours are limited especially on weekends.

HINT: Check with your credit card company before your visit to confirm if your credit card is OK to use for withdrawals at Japan Post Bank ATMs.

LINK

www.jp-bank.jp/post.jp/en/ais/en_ais_index.html

Electricity

The voltage in Japan is 100 Volt. Electrical plugs have two, parallel flat pins: Type A.

HINT: Bring an adapter if needed, as most accommodations do not have them.

Safety

Earthquake & Tsunami

Japan is prone to frequent natural disasters, such as earthquakes. Tsunamis are large waves caused by earthquakes. If you are near the coast and a large earthquake hits, head to higher ground immediately.

NOTE: Tsunami warning sign shown at right.



Extreme Weather & Typhoons

The Ki peninsula is one of the wettest areas in Japan. It juts out into the Pacific ocean in the path of storms. Heavy rains and winds, especially from typhoons, can cause flash flooding, landslides, and damage from flying debris. Keep up to date with the weather forecast and avoid walking during extreme weather conditions.

Slippery Stones

Most injuries on the Kumano Kodo are from slips and falls on the stone lined trails. The old cobble steps are particularly slippery when wet. Please take your time and be careful where you step.

Mamushi Snake

There is one main species of snake that is venomous in the area, the Japanese Mamushi (*Gloydus blomhoffii*). It has the broader triangle shaped head of a pit viper. It is patterned with pale gray, reddish-brown, or yellow-brown background covered with an irregularly shaped lateral blotches. Its mature length is about 45-80 cm long. They can sun themselves in or around the trail. Use a flash light when walking round in the evening so as not to step on one by mistake. If bitten seek medical attention immediately, while keeping the affected area as immobile as possible.



Mukade Centipede

The Mukade is a giant centipede, and its bite can be painful. They are black with yellow-orange legs. They like to hide in hiding shoes, so check your boots in the morning before putting your feet in. They are active in the hot and humid months.



Suzumebachi Hornet

The Suzumebachi is a giant hornet which can have a painful sting. If you see a nest avoid the area. They can be the most aggressive into the fall season.



In Case of Emergency

Seek the assistance of someone nearby. Even if they do not speak English they will try to understand and help. 119 is the emergency help line and a translation service in English, Spanish, Portuguese, Chinese, and Korean is available in most areas.

Shrines

The themes of purification and offerings repeat themselves during a visit to the shrine. The general flow of worship is to:

- Wash hands and rinse mouth at the purification basin (often near the entrance to the shrine)
- Make the bell ring by shaking the rope
- Offer some coins in the offering box, if you wish.
- Bow twice deeply.
- Clap your hands twice.
- Then bow once deeply.



Omamori

An Omamori is an amulet used for many reasons including warding off evil, for safety, health, etc. The word omamori (守り) means protection, with omamori meaning honorable protector. They often describe on one side the specific area of luck or protection they are intended for and have the name of the shrine or temple they were bought at on the other.



Ema

Ema (絵馬) are votive pictures used to make requests or wishes to the deities. This practice dates back hundreds of years to the 8th century. Ema directly translated means horse picture. Originally horses were given as offerings to shrines and over time this turned into offering images of horses. These days there are many motifs used including zodiac signs.

Gohoin (Goshimpu)

The Kumano Gohoin or Goshimpu (守魂) is a powerful amulet distinctive to the Kumano Sanzan Grand Shrines. Its main purpose is to ward off evils, avert calamities and bring good fortune. It is often displayed on house doors and in rice fields. Originally the amulet was composed of a red bear crop-shaped stamp, but to distinguish it from others, a background wood-block print with an intricate design of stylized crows and double lined good-fortune jewels was added. Each Kumano Sanzan Grand Shrine has a different version based on the same theme.



Pilgrimage Etiquette

Please abide by the following guidelines while enjoying the Kumano Kodo.

- Preserve the area as "heritage of all humankind"
- Respect the faith of past and present worshippers.
- Keep the routes clean - carry out all waste.
- Protect the local flora and fauna - do not remove or introduce animals or vegetation.
- Stay on the routes.
- Be careful with fire - prevent forest fires.
- Be prepared - plan your trip and equip yourself properly.
- Greet others with a smile and warm heart.

Accommodations

Accommodations along the trail are mostly Japanese style with tatami mat flooring in the guest rooms and dining area. These rooms are versatile with a low table moved to the side to lay down futon mattress to sleep. In the hot spring areas, there is a larger range of standards, from small family run minshu-style guesthouses to larger traditional inns. Accommodations are limited in the smaller areas.

Reservations are highly recommended as walking up to lodgings is not custom.

NOTE: Reservations can be made online at the Kumano Travel community reservation system.

LINK: www.kumano-travel.com

Meals

A trek along the Kumano Kodo is a culinary journey. Meals at the guesthouse and inns are Japanese style. Ingredients vary from the coastline to mountain side often featuring fresh, local ingredients. Rice is a staple and eaten at most meals. Open your mind (and mouth!) to try these new and delicious foods.

HINT: Practice with chopsticks before you come.



Bedding (Futons)



Bedding in the Japanese style guesthouses are futon mattresses laid onto the tatami mat flooring.

HINT: Japanese pillows can sometimes be hard, so if you need a soft pillow consider bringing along an inflatable pillow to make your sleep more comfortable.

Yukata

Yukata are cotton gowns to wear in and around a Japanese style accommodation. They are also used as pajamas.

Fold the left side over the right and tie the belt around your waist.

HINT: Wearing something underneath can save yourself from an embarrassing moment if you are not used to sitting down with a gown on!



Tatami

Tatami are straw mats used as flooring in traditional Japanese rooms.

There are a few general rules to follow in a tatami room.

- Do not wear slippers on the tatami.
- Keep the tatami dry, for example do not leave a wet towel or rain soaked gear on the floor.
- Avoid dragging tables or heavy luggage over the tatami, as this may tear the surface.



Slippers

Staying at a traditional Japanese accommodation keeps you busy with your footwear.

Basically there are three sets of footwear:

- ① Your outdoor shoes, which are left at the door,
- ② your indoor slippers, which you wear around the facility (not on the tatami though!),
- ③ and toilet slippers, which are only for use in the toilet area.

Baths (Onsen)

Japanese baths are the ultimate place to relax and wind down after a day's walk.

Hot springs are common in the area and baths featuring these mineral waters are called onsen.



How to Bathe

The very essence of the bathing routine is as below for both hot spring and communal baths.

- ① Take off clothes in change room
- ② Rinse or wash body
- ③ Soak in bath
- ④ Relax and enjoy!

Be observant. Watch (but don't stare!) the people around you so that you know what is going on.

Most places follow these general guidelines but some do differ slightly. The main thing is to remember to keep the bath water separate from the washing water, and be polite and courteous to other bathers.

NOTE: For a full guide to the Japanese bath visit the following page online.

LINK: www.tb-kumano.jp/en/onsen/how-to-take-a-japanese-bath/

Model Itineraries

Below are basic overviews of ways to walk the Kumano Kodo Nakehechi route from a shorter highlight trip to a multi-day trek.

Highlight Walks



- Day 1:**
- Bus to Hongu area, overnight
- Day 2:**
- Bus to Hoshinmon-ji
 - Walk Hoshinmon-ji to Kumano Hongu Taisha (p.12-13)
 - Bus to Katsura, overnight
- Day 3:**
- Bus to Nachisan
 - Walk Daimon-zaka (p.19)
 - Transfer to next destination

2 nights, 3 days

Highlight Walks



- Day 1:**
- Bus to Hongu area, overnight
- Day 2:**
- Bus to Hoshinmon-ji
 - Walk Hoshinmon-ji to Kumano Hongu Taisha (p.12-13), overnight
- Day 3:**
- Bus to Michi-no-Eki Kumanogawa bus stop
 - Traditional boat trip to Shingu
 - Transfer to Katsura, overnight
- Day 4:**
- Bus to Nachisan
 - Walk Daimon-zaka (p.19)
 - Transfer to next destination

3 nights, 4 days (boat trip)

Takijiri to Hongu Trek



- Day 1:**
- Bus to Takijiri-ji
 - Walk to Takahara (p.7), overnight
- Day 2:**
- Walk to Chikatsuyu/Nonaka (p.8-9), overnight
- Day 3:**
- Walk to Kumano Hongu Taisha (p.10-13), overnight
- Day 4:**
- Transfer to next destination

3 nights, 4 days

Takijiri to Hongu Trek



- Day 1:**
- Train to Tanabe, overnight
- Day 2:**
- Bus to Takijiri-ji
 - Walk to Chikatsuyu/Nonaka (p.7-9), overnight
- Day 3:**
- Walk to Kumano Hongu Taisha (p.10-13), overnight
- Day 4:**
- Transfer to next destination

3 nights, 4 days

Hongu to Nachisan Trek



- Day 1:**
- Bus to Hongu area, overnight
- Day 2:**
- Walk Kogumotori-goe (p.16-17), overnight
- Day 3:**
- Walk Ogumotori-goe (p.18-19), overnight
- Day 4:**
- Transfer to next destination

3 nights, 4 days

HINT: Adding the last half of a highlight walk itinerary to a Takijiri to Hongu trek makes for a nice extension.

Takijiri to Nachisan Trek

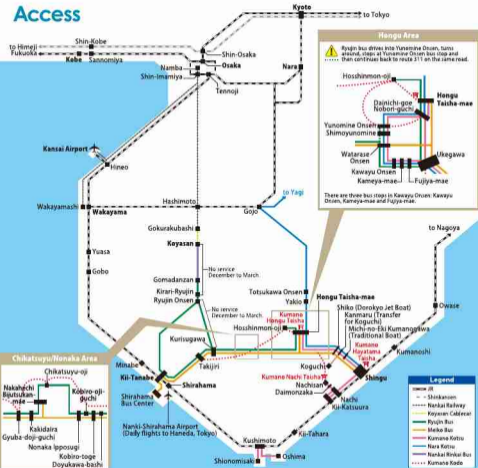


- Day 1:**
- Bus to Takijiri-ji
 - Walk to Takahara (p.7), overnight
- Day 2:**
- Walk to Chikatsuyu/Nonaka (p.8-9), overnight
- Day 3:**
- Walk to Kumano Hongu Taisha (p.10-13), overnight
- Day 4:**
- Walk Kogumotori-goe (p.16-17), overnight
- Day 5:**
- Walk Ogumotori-goe (p.18-19), overnight
- Day 6:**
- Transfer to next destination

5 nights, 6 days

See more itineraries and details online.
LINK: www.tb-kumano.jp/en/itineraries/10/

Access



Train

Train lines run along the coast of the Kii Peninsula. One line runs from Osaka on the west coast (JR West) and the other runs from Nagoya on the east coast (JR Central).



They overlap between Ki-Katsura and Shingu on the south east. The JR West express trains are called Kuroshio, after the ocean current that flows off of the peninsula. The JR Central express trains are called Nanki Wide View.

Trains are an efficient way to access the Nakahechi route.

Tickets

Tickets can be purchased at the Midori-no-Madoguchi counter at all major stations. An express train is the fastest way to travel to the area. For express trains two tickets are issued, a basic Fare Ticket and a Limited Express Ticket. Keep both tickets for the duration of the trip, as you will need them to exit the station on arrival.



JR Passes

Using transportation passes can be a convenient and reasonable way to get around the area. There are two regional JR passes that cover the Kii Peninsula: Kansai WIDE Area Pass, and Ise-Kumano-Wakayama Area Tourist Pass.

NOTE: Not all bus lines are covered by these passes.

LINK: www.tb-kumano.jp/en/transport/passes

Useful Words & Phrases

- I would like to buy a one way express train ticket to Kii-Tanabe station. (私が片道特急の乗車券を買いたいです)
- Reserved Seat (指定席)
- Platform (プラットフォーム)
- Station (駅)
- Non-Reserved Seat (自由席)
- Transfer (のりかえ)

Bus

Local Buses are the main form of public transport once you leave the coast and head into the mountains. Buses are limited, so it is best to plan ahead and check the timetables.

NOTE: Downloadable timetables are available online.

LINK: www.tb-kumano.jp/en/transport/bus/

How to Ride a Local Bus

Riding a local bus is easy once you learn the basic system as outlined below.



- ① Enter through rear door (or front door if only one)
- ② Take number ticket
- ③ Push button to inform driver that stop is wanted (it is also good practice to tell the driver where you want to get off when you board)
- ④ Match number ticket to the electronic fare chart at the front of the bus to determine fare (prices change according to distance travelled)
- ⑤ Change money if needed
- ⑥ Put money and ticket in fare box (exact fare)
- ⑦ Exit through front door

NOTE: Only 1000 yen bills can be changed for coins. So make sure that you have enough smaller bills before you get on the bus.

Kii-Tanabe Station Bus Stop

Buses for the Kumano Kodo depart from bus stop number 2 in front of the TANABE Tourist Information Center next to the Kii-Tanabe station.

HINT: Tell the bus driver where you want to get off when you board the bus.



Useful Words & Phrases

- I would like to go to the Takjiri bus stop. (滝尻バス停までお願いします。)
- Where is the Kumano Kodo trailhead? (熊野古道登山口はどこですか?)
- Bus stop (バス停)
- Transfer bus (乗りかえバス)
- Change money (両替)
- Number ticket (整理券)
- Bus fare (バス代)

Route Guide

The Nakahechi route of the Kumano Kodo pilgrimage network begins in Tanabe on the west coast and traverses the Kii Peninsula east towards Kumano Hongu Taisha. In the Hongu area are two sub-routes called Danjiri-goe and Akagi-goe which lead to Yunomine Onsen.

From Hongu there are two routes south-east: a mountain trail (Kogumotori-goe and Ogumotori-goe) to Kumano Nachi Taisha, and a waterway route on the Kumano-gawa River to Kumano Hayasama Taisha, in Shingu city. The waterway route cannot be walked, but there is a traditional boat tour on the southern portion.

Nakahechi Main Route

Takijiri-ji: Entrance to Kumano Mountains

Takijiri-ji (Takijiri-ji) is a very important spot on the Kumano Kodo Pilgrimage route and one of the four major Kii shrines. It is here that the passage into the sacred mountains begins—the entrance to the state of the gods and Buddhist deities of rebirth.



There were once extensive fields, a bath house, a kitchen for pilgrims, and residences for monks, priests and monks located here. It was here during the golden age of the imperial pilgrimages to Kumano (770 A.D. to 12th century) that seven colorful akabuki robes were practiced regularly to purify body and spirit before worshipping.

During the elaborate ceremonies that followed, sutra, prayer, dancing, songs and poetry were offered to a mixture of local and Buddhist deities.

Present day, Takijiri-ji is the main building for the Nakahechi route, a 40 minute bus ride from the JR Kii-Tanabe station. The road Kumano Kodo Kiri Pilgrimage Center is located across the river from Takijiri-ji with introductory exhibitions about the pilgrimage route. There is a small shop in front of Takijiri-ji which sells souvenirs and beverage vending machines.

The trail is to the left side of the small shrine buildings. At the back a stone staircase climbs up across a large rock to begin the ascent to the Takahara Jōji settlement (377m).

NOTE: The trail starts off very steep, so take your time and set a slow pace.

What's an Oji?

Oji are subsidiary shrines of the Kumano Grand Shrines that live the Kumano Kodo to protect and guide pilgrims. These shrines house the "local deities" of Kumano, and serve as places of both worship and rest. The location of these shrines has been attributed to the Nakahechi mountain deities, who historically served as pilgrimage guides.

Into the Mountains

Around 15 minutes into the climb, there is a set of large boulders. Some of these form a cave called "Sawarageki," where you can feel your hair by climbing through the crack at the far end. Another boulder, the Chōchi-no-oka, is associated with a local legend.

There is a lookout point shortly after signpost 3 where a small shrine at some stairs offers a glimpse over the mountains. Follow the stairs down the other side of the peak to join up with the main route below.

The trail crosses the trail to Takahara between signposts 4 and 5. Cross the road and continue up the ridge. The last set of stairs brings you past an old TV tower which marks the entrance to Takahara settlement.

Takahara Kumano-jinja Shrine

Follow the paved road past a series of houses and you will pass by the Takahara Kumano-jinja shrine surrounded by giant Camellia trees. This shrine is a view of the oldest buildings along this section of the pilgrimage route.

Take a peak around the back of the buildings to see more ancient trees which are estimated to be 800 to 1000 years old.

Takahara Settlement

Just down the road from the shrine is a parking area with wonderful panoramic views of the Nakahechi mountain range to the north.

Takahara is known as "Kiri-no-Sato" (Village in the Mist) because the scenic mountain vistas are often shrouded with mist. The valley below is sometimes filled with fog, creating a beautiful sea of clouds.



Minamoto-no-Wakihito, a nobleman who accompanied the retired emperor Daitoku on his pilgrimage to Kumano, composed the following waka poem:

雲霧や峰のしづる山にのぼりて
下ゆの心もわづらひし
In Takahara the moon
Rising above the mountains
Shines as a 1000-year-old star

Past Takahara

From the Takahara parking area the trail rises up and east along a small walking path between houses and terraced fields. This path is located directly south of the Takahara parking area on the other side of the road. Look for a Kumano Kodo signpost pointing the way.

The trail from Takahara continues to climb into the mountains from the east end of the city settlement through the forest. About 1.5 km past Takahara is the Jōji-ji clearing, a popular spot for picnic lunches.

The highest part of this trail is the remains of the Utsunoyama Tsubasa (490 m) road signpost number 14. The trail then descends quickly past the Three old Moon Viewing area associated with a legend about a Yamabiko mountain ascetic and his miraculous encounter with the Kumano deities.

Kumano Kodo Nakahechi Michi-no-Eki

The trail descends slowly, sometimes with switchbacks, until Oshikamotori where the trail follows a small creek. The pilgrimage route connects with highway #311 just past the number 23 trail marker.

Across the highway is the Kumano Kodo Nakahechi Michi-no-Eki rest stop. The store sells local souvenirs, snacks and drinks, and has a collection of vending machines. There is a playground.

The public toilets are next to the parking lot and the Gyuba-doji-guchi bus stop is directly in front of the rest stop.

Gyuba-doji Statue

A short climb from the rest stop leads to the Hoshino-guchi pass and a collection of statues. The statue on the left is known as Gyuba-doji and depicts Retired Emperor Kanmu (804-1208) as a boy riding a horse and one the left was one of the first to make an imperial pilgrimage to Kumano.

To the right is a stone carving of Enryūgaki, the legendary founder of Shingon, a sacred region based on mountain ascetic practices. A third monument, a Holy King's stone dating from the 12th century.

Chikatsuyu Village

Just before sign post number 58 and the Funahashi shrine, is a trail junction south for the Akagi-gawa section of the Kumano Kodo which leads to Yunomine Onsen. Continue past the Funahashi-shin shrine along the lanterny road. After a few minutes the trail climbs to the right to the Hoshinomi-ōji.

Over 900 years ago, groups of up to 300 pilgrims would be accommodated in the area. They performed cold-water purification rites in the river before worshipping. The buried remains of 12th-century religious artifacts were discovered close by and until 1963 a large pavilion was located at Chikatsuyu-ji. It was dismantled because of an imperial edict to merge shrines.

There are public toilets, stone, vending machines, and a bus stop in Chikatsuyu.

Tsugizakura-oji

This section follows the old highway through Chikatsuyu Village along the south side of Mt. Takao. As the road works its way up and east you pass a series of houses. There is a short section of dirt path just before trail marker number 26.

The paved road gradually climbs over 200 meters in elevation before reaching the impressive Tsugizakura-ōji.

In the shrine grove of Tsugizakura-ōji are the massive Manaki-no-Koyasu cedar trees (Cryptomeria japonica). Some have a circumference of 8 meters, and are believed to be up to 800 years old. The branches are all-pointing to the south, towards Mount Fuchi and the power of Kuroda's Futsuno paradise. They are called "tsuyu".



meaning "one-directional cedar".

This shrine, along with its trees, was scheduled to be demolished in 1906 as part of the government's shrine consolidation program. It was saved by Minato Nakano (1867-1941), an wealthy textile merchant and avant-garde environmentalist. He was fiercely opposed to shrine mergers as they destroyed outstanding pockets of biodiversity, along with the beliefs and faith of the local people.

Nonaka-no-Shimizu Spring

The Nonaka-no-Shimizu spring, one of the 100 terraced waters of Japan, is located just below the shrine.

There are many poems written about the Nonaka-no-Shimizu spring including a Haiku written over 800 years ago by Hakuin Nanatsu, one of the pupils of the famous Haiku poet Matsuo Bashō.

ついでに
雲よ出るの
山はな
Crystal Clear
Including the Trail
Mountain Spring Water

NOTE: Fill up your water bottle here for some delicious refreshment.

Kobiro-toge

The Kumano Kodo follows the old highway from Tsugizakura-ōji to Kobiro-toge pass. Pilgrims often travel by bus to the Kobiro-toge area to shorten this section of making.

The trail can be accessed from the Kobiro-toge bus stop, or further up highway 311 at the Dayagawa-bashi bus stop.

New the trail enters the forest, climbing and descending a series of passes.

Detour

Because of damage to the trail there is a 4 km detour from Nakatsuyu Taisho remains to Jagata Jōji, south of the main pilgrimage route.

The trail follows a heavily used for a short time to a small log bridge across the river to the left. The route then makes the long climb over the Inagiri-toge pass and then descends to the Jagata Jōji, following another heavily used for part of the way.

Beware! Daru!

Travelers in the area are sometimes overcome by dark spirits, serpent-like creatures capable of assuming invisible form, penetrating the human body, and inflicting a variety of painful lesions. A local legend recommends never to cut off your limbs, as it is best to have some extra movement to fight off the invisible-reducing force.

Mikoshi-toge to Hoshinomi-ōji

From Jagata-ji the trail crosses a small river and enters to Mikoshi-toge, the last of the major passes on the main route. From Mikoshi-toge the path descends through cedar and cypress plantations to the Chikatsuyu-gawa River.

Just before sign post number 58 and the Funahashi shrine, is a trail junction south for the Akagi-gawa section of the Kumano Kodo which leads to Yunomine Onsen. Continue past the Funahashi-shin shrine along the lanterny road. After a few minutes the trail climbs to the right to the Hoshinomi-ōji.

Hoshinomi-ōji

Hoshinomi-ōji is known as the 'gate of awakening of the aspiration to enlightenment' and marks the southern entrance to Kumano Hongu Taisha's sacred precincts.

The section from Hoshinomi-ōji to Kumano Hongu Taisha is a mixture of forest trails and isolated mountain-top villages, and makes for a wonderful highlight! day walk with panoramic views to be found along the way.

The route follows a road east through Hoshinomi-ōji village from here to Mizunomi-ōji. Keep a look out for the full-art wood carvings.

Mizunomi-ōji

Mizunomi-ōji is known as a shrine with a water source. A stone monument was erected here in 1023 by the headlord of the Kōshū domain (present-day Watsuyama prefecture).

There are also small stone Jōji statues to the left of the fountain. Jōji is a Buddhist, or a being that comparatively refers from entering nirvana is wider to save others, and is one of the most popular deities in Japan. Jōji is the savior and protector of children and travelers, Jōji also takes on other forms of talk being. The small Jōji on the right is split horizontally in the middle. People get cuts in the cross



and pray for relief from their backaches.

The last enters the forest of Mizunomi-ōji, the site of an old school house, and exits at the west end of the Hoshinomi-ōji settlement, with its numerous tea plantations and terraced fields. The trail through the Hoshinomi-ōji settlement is on the road.

Fushigogami-ji

Fushigogami-ji is where pilgrims fell to their knees and prayed after catching their first glimpse of the Grand Shrine in the distant valley below.

There is a story that took place here at Fushigogami-ji that epitomizes Kumano. Around 1000 years ago Lord Shōshō, a former female poet, was on pilgrimage, and started to menstruate at Fushigogami-ji. Purification is an important element in Japanese religion and blood is considered impure, so women who were menstruating were not allowed to worship. She was terribly distressed and not being able to pay homage and composed a poem in her distress.

はつやからぬ
みづさきでものたひびきて
つきのさかり
なるぞかし
Breath unclear skies, my body
observed by falling clouds,
I am saddened but my monthly
abstention has begun.

That night the Kumano deity came to her and replied:

ふとふと
ついにまじわりのみならは
つきのさかり
ふたつふたつ
How could the god who mingles
with the dust
suffer because of past
monthly abstention?

Even deities suffer from impurities, so Kumano does not exclude anyone from worshipping here. Compared with other sacred sites in Japan where women were banned, Kumano was welcome to Kumano pilgrims of both sexes, classes and classes. Openness and acceptance is a fundamental theme of the Kumano faith. A monument to Lord Shōshō is located near at the lookout point.

There is a covered rest area here where locals serve handmade snacks and coffee made with hot spring water (plans in operation may change). This is a popular place to eat a picnic lunch box.

From here the trail descends through the forest past Sengen-ji to the Kumano Hongu Taisha.

Sangen-jaya

Sangen-jaya is the junction of the Nakahechi and Kachi routes. Watch for the historic stone sign post. The Kachi route is the mountainous route to Koyasu in the north. There are also two more routes to Koyasu leading to its importance.

A replica of a Shinto checklist stands on the site. Shikoku was systematized in the Edo period (1603-1868) and found as all of the major routes in Japan. Their main purpose was to control the movement of people and collect tolls.

NOTE: Highway between Sengen-jaya and Kumano Hongu Taisha (near number sign post 78) is a short detour to a lookout point that is not to be missed!

Kumano Hongu Taisha

Kumano Hongu Taisha is one of the three grand shrines of Kumano. The trail enters the grounds from the north. The pavilions have gone through periods rebuilding after damage from fires and floods but the architectural style has remained consistent for over 800 years. Notice the graceful cypress bark roof and distinctive torii ornaments on the roof top.

The shrine deck with offering bags leads to route 788. Across the street is the Kumano Hongu Heritage Center and Kumano Taisha-mae bus stop.

Yatagarasu Three-legged Crow

An interesting myth that can be found in the Kumano Saizan is the Yatagarasu three-legged crow. It is believed to be a divine messenger and supernatural guide, who helped the first emperor of Japan navigate the impenetrable Kumano mountains in the Japanese celtic myth. The three legs represent heaven, earth and mankind. A modern day use of the Yatagarasu is in the logo of the Japanese Football association.



Oyomihara

Oyomihara is the original site of the Kumano Hongu Taisha. In 1389 a flood destroyed the shrine and it was moved to its current location. In the clearing the expansive, raised wooden platform still exists.

A massive torii gate marks the entrance of almost 34 meters tall and 42 meters wide. It is built of steel and erected in the year 2000.

Dainichi-goe

The Dainichi-goe road is a short but relatively steep trail over Mt. Dainichi that links Kumano Hongu Taisha with Yuzumino Onsen. It is through a forested area mainly of cedar and cypress.

The trailhead is located in the south of the Hongu Taisha site, just off of route 168 on the old 311 highway. There is a brown wooden sign located on the first set of stairs painting the way.



The first section passes through a set of houses. Please respect the privacy of these living areas. The trail starts off steep and continues for this road of a way, so take your time and set a slow pace.

NOTE: Please wash your step as there are some tree roots and rocks along the trail which can be slippery, especially when wet.

Tsukimigaoka-jinja

About 20 minutes into the walk is the Tsukimigaoka-jinja shrine. It traces its roots back to local Shugyo worshippers. This shrine is associated with the Kumano Hongu Taisha Grand Shrine. Notice the tall trees in the shrine ground, and the difference in their bark. The walk from the trees are harvested and used for the roofs of the shrine pavilions of the Kumano Hongu Taisha.

Hanakake-jizo

On the edge is the Hanakake-jizo. It carved into a rock along the trail. Just after this Jizo carving the trail descends down the west side of Mt. Dainichi.

You know you are getting closer to Yuzumino Onsen when you can smell the sulfur from the hot springs as they are drifting up the side of the mountain.

Yunomine Onsen

The trail terminates near the Tsuboyu bath in Yuzumino Onsen. Yuzumino Onsen has a history of over 1800 years and was the site of hot water purification rite.

Enjoy a hot spring bath after your walk at the public baths, and snack on an egg sandwich in the public cooking facility. You can purchase eggs for boiling at a few shops in town. These eggs make for a perfect bite to eat after a walk on the Dainichi-goe.

Akagi-goe

The Akagi-goe route links Yuzumino Onsen and Hokutani-dera, which is on the main Saishuji route. It is a mountain trail that climbs up and over a ridge. This section is often cut by walkers to make a loop with the Inakashi section from Hoshikimono-ji to Kumano Hongu Taisha.

The trailhead in Yuzumino Onsen is just upstream from Tsuboyu bath across the road from Yoshimaya Ryokan.

Kakihara-jaya Teahouse Remains

The remains of this teahouse include the abandoned teahouse itself, a residence, and cemetery. The Kakihara-jaya teahouse was mentioned in a compilation of history and folklore from the Toki Period (1603-1643) showing that it was an important stop on this section of pilgrimage route. This site was inhabited until the end 1870s.

Nabewari Jizo

The name of this Jizo statue, erected in 1803, is associated with a legendary episode that took place during Ippen Shonin's pilgrimage to Kumano.

Shonin, Ippen Shonin's servant, was one day boiling rice in a clay pot for his master's lunch. Suddenly, the water in the pot completely evaporated, and it cracked from the heat.



This spot subsequently became known as Nabewari ("Rained Pot"), and later this Jizo was named Nabewari ("Cracked Pot").

Kogumotori-goe

The Kogumotori-goe is the first day of a two day from the Hongu area to Kumano Nachi Taisha. It is a climb and descent over a pass, and is mostly in the forested mountains.

Trailhead

The trailhead is located just south of the Meguro tea shop. The trail starts off passing by a set of houses. It feels as if you are walking through people's backyards, which you are! Please be respectful of the villagers' privacy.

The trail is a gradual and continuous climb to Haiden-gura. Sometimes through stands of cedar and cypress, and other times through native forests on rocky ridges.

Hyakken-gura

After the beautiful trailhead the path traverses the north side of Mt. Hyakken, meandering back and forth with the curves of the small streams that run down the slope.



At the 5.5 kilometer point in the trail the impressive Hyakken-gura look out surprises walkers with a lovely panoramic view of the 3600 peaks of Kumano.

Just after Hyakken-gura is a junction with a forestry road. The trail continues directly across the road. Just if you turn right and walk down a short way there are toilet facilities.

Sakura-jaya Teahouse Remains

The trail rises and falls past the forestry road junction, sometimes gradual and the odd time steeper, but generally of the same elevation to Sakurajaya teahouse remains.

The views down to the valley and across to the mountains are on the other side are impressive, and offered an advantage to proprietors of tea houses in the past.

It is said that when the owners of the teahouse saw pilgrims approaching from far off in the distance, they would start to cook matcha rice cakes and hot water for tea, to have things ready to serve just as the pilgrims would arrive at the teahouse.

Into the Valley

After the remains of Sakurajaya teahouse the trail descends rapidly into the valley below with pilgrims onto the Akagi-gawa river. Near the base of the slope is a short but steep section of cobblestones. Notice the small prayer tablets near the statue which are offerings by Yamakuni mountain ascetics who walk this trail for spiritual training.

NOTE: Please be careful here as the moss covered stones can be treacherous, especially when wet.

Koguchi

Near the river you walk past some houses before walking over the bridge. In the past a short ferry ride took pilgrims across this section of river. There is a toilet here and the Kowase bus stop.

Turn right and walk up the road (route 46) for about 1 kilometer. After passing through a short tunnel you can see the small settlement of Koguchi.

Ogumotori-goe

The Ogumotori-goe is the second day of a two day from the Hongu area to Kumano Nachi Taisha. It is one of the toughest sections of the Inakashi section of the Kumano Koto. It is a climb and descent over a pass, and is mostly in the forested mountains. There are no facilities along this path, so pack a lunch. The trail begins by passing through a small set of houses.

Warada-ishi Rok

'Warada' means 'round shaped earthen' and 'ishi' means 'rock'. The three symbols carved into Warada-ishi are called 'Jinji', Sanskrit characters assigned to Buddha and Buddhist monks.

From left to right they represent Kannon (Bodhisattva of Mercy), Mikoshi (Medicine Buddha of Healing) and Amida (Buddha of Compassion and Wisdom), which are worshipped at Kumano Nachi Taisha, Kumano Hayasama Taisha and Kumano Hongu Taisha respectively.

According to the Shinto-Buddhist syncretism philosophy of the region, the local Shinto deities are considered manifestations of the above Buddhist figures. It is here that the Kumano deities are believed to meet and chat over tea.

Dogiri-zaka

Directly translated Dogiri-zaka can be translated as 'Tooty Breaking Slope', and is an appropriate name for the mid-section of the walk which climbs about 400 meters in elevation -5 kilometers.

For hundreds of years pilgrims have labored up and down this seemingly endless slope. Even the famous poet Iwanoa Iwano (1163-1201) was at a loss of words after walking this section, stating in his pilgrimage diary from 1201 that, 'This route is very rough and difficult, it is impossible to describe precisely how tough it is'.

Please take your time, and watch your step on some of the slippery rock staircases. Also take note of the ancient stone walls of past forested hill sides.

Jizo-jaya Teahouse Remains

From Shizen-koji pass at the top of Dogiri-zaka there is a series of shorter climbs and descents to Funayama teahouse remains. Just after junction number 17 the trail follows a forestry road for ~1.3 kms. At this junction is the Jizo-jaya teahouse remains, toilet facilities and covered sitting area. The trail then runs parallel a forestry road for most of the rest of the course, crossing it a couple of times in the process.

Moja-no-Deai, Abode of the Dead

A smaller peak to the south is called Mt. Myoko an open sanctuary of Nachian, and graveyard. MUMIKO is considered the 'Mount Kaya for women', the historic headquarters for the greatest Kumano deity Koto. The souls of the dead gravitate to these high mountains, where spirits inhabit this section of the trail.

Funami-koze Pass

The vastness of the Pacific ocean spreads out before you on a clear day at Funami-koze pass, where you can see the complicated, well rugged coastline. The seaside village in the distance is Katsurao, a famous fishing port for tuna, and hot springs.

Final Descent

From Funami-koze pass the trail makes a sharp descent down to the Nachi Kogen Park. Walk down through the left hand side of the park and you enter into the typical cedar and cypress forest. Stone staircases become more and more frequent as you get closer to the trailhead at Nachian.

Nachian

The last stone steps from at the Nachian sanctuary, with a view of Nachi-no-Onari falls to the left. To the immediate left is a small shop and toilet facilities. To the right is the Seiganto-ji temple and the Kumano Nachi Taisha Grand Shrine.

The Nachi-no-Onari is 133 meters high and 13 meters wide, the tallest waterfall in Japan.

It is a sanctuary of Kumano Nachi Taisha and first has been practiced since ancient times and is used for ascetic training by mountain monks who practice Shugyo, a mixed religion of foreign and indigenous beliefs. You can walk down to near the base past the three-colored pagoda after visiting the stone grounds.

Seiganto-ji

The wonderful wooden Seiganto-ji is a Tenrei Buddhist temple founded in the early 8th century. Legend holds that a Buddhist priest from India arrived ashore and experienced a revelation of Kannon, the Buddhist deity of mercy.

Seiganto-ji Temple is also the first sacred place of 'Daigokujinnri', or pilgrimage to 33 Kannon which started in 1161.

NOTE: When ringing the rope for the gong (the largest in Japan), do not let go of it, but rather do an exaggerated whirling action.

Kumano Nachi Taisha

Past the Seiganto-ji temple and through a small gate is the brightly colored Kumano Nachi Taisha, one of the three grand shrines at Kumano.

Notice the giant camellier tree with its broad branches high over the building. Pilgrims can be seen by walking through the trunk of this massive old-growth tree.

From Nachian it is a 25 minute bus ride to the JR Ki-Katsura Station on the coast.



DUAL PILGRIM



ARE YOU A "DUAL PILGRIM"?

If you have completed both the Kumano Koto and Way of St. James then you are a "Dual Pilgrim".

To receive the Dual Pilgrim status, pilgrims must complete one of each of the following:

WAY OF ST. JAMES

- at least the last 100 km on foot or by horse, or
- at least the last 200 km by bicycle

KUMANO KODO

- Takiji-ji to Kumano Hongu Taisha on foot (~38 km) or
- Kumano Nachi Taisha to / from Kumano Hongu Taisha on foot (~30 km) or
- Hoshikimono-ji to Kumano Hongu Taisha on foot (~7 km) plus a visit to Kumano Hayatama Taisha and Kumano Nachi Taisha or
- Koyasan to Kumano Hongu Taisha on foot (~65 km)

CREDENTIAL

Credentials are available at the information center next to the Ki-Tanabe station



STAMPS

Stamp are mostly located in small wooden stands. Watch for the icon on the map.



REGISTRATION SITES IN JAPAN

Kumano Hongu Heritage Center
世界遺産熊野本宮
100-1 Minato-cho Hongu
Tanabe City, Wakayama Prefecture,
647-1371

TANABE Tourist Information Center
田辺市観光センター
1-20 Minato, Tanabe City,
Wakayama Prefecture, 646-0031

NOTE: Registration takes ~15 min and cannot be mailed out.

MORE INFORMATION

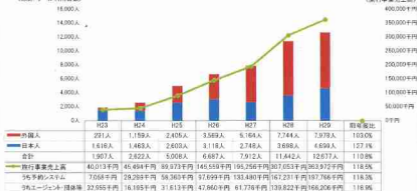
www.tbi-kumano.jp/en/visit/td-heritage/dual-pilgrim/

田辺市熊野ツーリズムビューロー旅行業務取扱状況

【熊野トラベル利用者数】

【熊野トラベル利用者数 及び 旅行事業売上高】

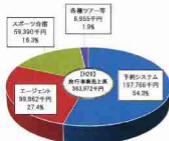
【旅行事業売上高】



【旅行事業売上高 内訳（前年度比較）】



【H28仕入高:253,011千円 ⇒ 仕入率:82.40%】



【H29仕入高:305,847千円 ⇒ 仕入率:84.03%】

【エリア・地区別 延べ宿泊者数の割合】



※熊野トラベル予約システム利用者分

【出身地域別 宿泊者数の割合】



※熊野トラベル予約システム利用者分

【電車で… By Train】

◇京都・大阪方面から紀伊田辺へ From Kyoto/Osaka to Kii-Tanabe
 京きのくに線（特急）で紀伊田辺へ



◇名古屋・新宮・勝浦方面から紀伊田辺へ From Nagoya/Shingu/Kii-Katsura to Kii-Tanabe
 紀伊本線・きのくに線（特急）で紀伊田辺へ



【飛行機で… By Airplane】

◇羽田から南紀白浜空港利用 From Tokyo Haneda via Nanki-Shirahama



◇関西国際空港から田辺へ From Kansai International Airport



世界に開かれた持続可能な観光地を目指して…
 Working Towards Sustainable Tourism



一般社団法人 田辺市熊野ツーリズムビューロー
 Tanabe City Kumano Tourism Bureau URL: tb-kumano.jp

熊野への旅の予約は…「熊野トラベル」へ kumano-travel.com
 Community Reservation System

〒646-0085 和歌山県田辺市中屋敷町24-1
 24-1 Nakayashiki-machi, Tanabe City, Wakayama Prefecture, 646-0085 Japan
 TEL: 0739-26-9025 FAX: 0739-26-5820 Email: info@tb-kumano.jp
 営業時間: 8:30~17:15 休業日: 土・日・祝・年末・年始(12月28日~1月3日)
 Office Hours: 8:30~17:15 Closed: Weekends and National Holidays



一般社団法人
田辺市熊野ツーリズムビューロー
会長 多田 穂子
Bureau Director, Noriko Tada

沿革

Timeline

2005.05

市町村合併により、
新田辺市誕生
※旧熊野村、旧中辺路町、
旧大塔村、日本書紀、旧田辺市
Merge of 5 municipalities into
Tanabe City

2005.09

田辺市観光協会連絡協議会設立
Tourism Reorganization Committee

2006.04

田辺市熊野
ツーリズムビューロー設立
Formation of Tanabe City Kumano
Tourism Bureau

2010.05

法人格（一般社団法人）取得
Register as General Incorporated
Association (Ippan Shadan Hojin)

2010.07

第2種旅行業取得
Obtain National Travel Agency
Licence

2010.10

専地型旅行業スタート
Create Destination Management
Company

100年先を見据えた 持続可能な観光地を目指して…

2005年5月、田辺市・龍神村・中辺路町・大塔村・本宮町の5市町村が合併し、新「田辺市」が誕生しました。和歌山県の面積の約22%を占める広域合併は、観光振興のあり方を変えました。合併前年の2004年に世界遺産に登録された「熊野古道」のうち、口熊野（旧田辺市）から奥熊野の熊野本宮大社（大宮原）までの約60kmが田辺市になったのです。

この大きな変化をチャンスとし、世界遺産「熊野」の世界に向けて情報発信していきこうと挑戦が始まりました。世界に開かれた世界に通用する観光地を目指すには、従来型の送客システムに依存するのではなく、固定観念を捨て、広域的視野に立つことが必要となります。観光客の目線に立ち、田辺市だけでなく熊野全域の観光情報の発信に取り組みするために設立されたのが「田辺市熊野ツーリズムビューロー」です。

はじめの4年間は情報発信と受け入れ地のレベルアップに取り組みました。さまざまなプロモーションにより、国内外のメディア露出の機会が増え知名度も上がってきましたが、皮肉なことに知名度が増すにつれ、「熊野は行きにくい」「二次交通の整備が遅れ、情報が不足している」といった問題点が明らかになってきました。

そこで5年目には法人格を取得し第2種旅行業登録を獲得、専地型旅行業を開始することとなりました。「プロモーション」と「遊ぶしくみ」という観光地づくりに必要不可欠な両輪が出来上がったのです。日本国内だけでなく、F・I・T（外国からの旅行者）にも対応できる専地型旅行業の開始はおそらく日本初の試みであったでしょう。F・I・Tという今までになかったマーケットへの参入は地域に衝撃の変化が起き、経済効果も期待できるはずでした。

そして、単に観光客と観光事業者とを結びだけ旅行会社ではなく、地域全体をプロデュースしながら旅行客に提供する中間支援組織～Community Reservation System～でありたいと願っています。

Working Towards Sustainable Tourism

The Tanabe City Kumano Tourism Bureau was formed in April 2006, after the amalgamation of four villages (Hongu, Nakahachi, Ryujin, and Ono) with Tanabe City in 2005. Our Tourism Bureau is responsible for tourism promotion and development of the new Tanabe City in its entirety.

Our goal is to make quality information available for independent travelers and small groups to safely and efficiently travel through this unique part of the world and to experience all of the wonders it has to offer along the way. By focusing on low impact visitors, we aim to create a sustainable tourism destination that will help preserve the UNESCO World Heritage Cultural Landscape of Kumano for future generations.

Tanabe is located in central Wakayama Prefecture in the Kii peninsula, straight south of Osaka, Nara and Kyoto in the heart of the ancient Kumano area. Tanabe City is blessed with natural sites, hot springs and rich traditional spiritual culture, including the World Heritage Kumano Kodo pilgrimage route and the grand shrine, Kumano Hongu Taisha.

観光・地域資源 Tourism Resources



観光基本スタンス Stance

- 「ブーム」より「ルーツ」 Roots not fad
- 「乱開発」より「保全・保存」 Preservation not overdevelopment
- 「マス」より「個人」 Individual/ small group not mass
- 「世界に開かれた観光地」を目指す Towards destination open to the world

持続可能で質の高い観光地
High quality sustainable tourism destination

中間支援組織として… Position



情報整理・発信 Promotion



国際観光推進員
International Tourism Promotion &
Development Director



多言語ホームページ
Multilingual Website



多言語観光パンフレット
Multilingual Pamphlets



プレス・エージェントツアー
Press & Agent Tours



メディア等取材対応
Media & Agent Support



サンティアゴ・デ・コンポステーラ市
との共同プロモーション
Joint Promotion with Santiago & Compostela



海外向けプロモーション
Overseas Promotion



視察・講演会
Lectures & Presentations



写真データの貸出し
Image Database

現地のレベルアップ Development



外国人観光客対応
レベルアップセミナー
Guests Tourism Development Seminar



語り部・ガイド研修
Local Guides Support



周辺エリアとの連携
(観光圏事業)
Multi-stakeholder Networks Development



指差しツールの作成
Bilingual Accommodation Guidance
Tools (Japanese/English)



バス時刻表の英語併記
Bilingual Bus Timetable
(Japanese/English)



エリアマップの作成
Bilingual Area Maps
(Japanese/English)



音声ガイド
English Audio Guides



熊野古道看板整備
Update Kumano Kodo Sign
Infrastructure



観光施設内展示の英語併記
Tourism Facilities Renewal Projects

着地型旅行業の設立(背景) Destination Management Company

近年、旅行形態が「ツアー(団体)」から「家族・個人」へとシフトし、それに伴い旅行者のニーズが多様化・個性化されてきました。そして、いわゆる「本物志向」が強まり、発地の情報だけではお客様を十分に満足させる対応が困難となってきています。

そのような状況の中、着地(目的地)での現地情報や地元の情報ネットワークを活かしたきめ細かなサポートが求められるようになり、2010年、地域に根差した「着地型旅行業」を開業しました。

The Tanabe City Kumano Tourist Bureau is responsible for tourism promotion and grassroots tourism development of the region. But even if people were interested in the area, it was difficult to plan and make reservations, keeping visitors from turning their desires into reality. There needed to be a system to link the visitor with the local area. Thus began the development of Kumano Travel, Japan's first community-based travel agency focused on independent travelers and small groups.



活動実績 Award

明日へのツーリズム賞(ファイナリスト) 2012.04
Tourism for Tomorrows Awards, Finalist

日本で初めて、WTTC(世界旅行ツーリズム協議会)が主催する『明日へのツーリズム賞(第12回)』のファイナリストにノミネートされる。
World Travel & Tourism Council's Tourism for Tomorrows Awards finalist in the Destination Stewardship Category, the first for a Japanese Organization.



第5回JTB交流文化賞優秀賞 2010.01
JTB's Cultural Exchange Award



和歌山県観光
功労者表彰 2012.05
Wakayama Prefecture
Tourism Merit Award

着地型観光のメリット Destination Management Company Benefits



- 新しい旅行システム
New tourism model, locally owned & operated
- 手数料等が着地(地元)に残る
More profits stays in the region
- 現地情報やネットワークを活かしたきめ細かなサポート
Intimate knowledge & support
- 新たな旅行商品の発掘
Unique tourism opportunities
- 雇用の創出
Create employment
- FIT(外国からの個人旅行者)対応
Foreign individual travelers support
- 旅行手配をワンストップで!
One stop booking for all services
- モデルコース、オリジナルツアーの提案
Original customized itineraries
- 熊野地域全体の(市域、県域を超えた)旅をサポート
Strong regional network of stakeholders

◀ インターネットを利用した旅行予約システム
Online reservation site (Japanese/English)

旅行プラン(ツアー造成例) Sample Tours

<p>熊野古道 通詣講ウォーク Kumano Kodo Pilgrimage Route Maintenance</p>	<p>南方熊楠ゼミナール & 熊野古道 Mitsukata Kumogusu Seminar & Kumano Kodo</p>	<p>龍神温泉ツアー(女性限定) 美意識向上計画 Ryujin Onsen Tour for Women</p>	<p>台風12号被災復興キャンペーン 田辺・熊野「春呼吸ツアー」 Typhoon Recovery Tour</p>

■ DMOの取組状況に関する調査に対する回答

DMOの名称	一般社団法人田辺市熊野ツーリズムビューロー		
対象区域	和歌山県田辺市		
所在地	和歌山県田辺市湊1-20		
設立日	平成18年4月1日	区分(該当に○)	広域連携 地域連携 <u>地域</u>

<質問項目①>

・対象区域の自治体等が策定した観光振興計画(当該地域の観光振興を目的として策定された計画であって、観光振興をその内容の一部とする計画・ビジョン等を含む)がありますか。当該計画において、DMOは具体的にどのような役割を担うこととされていますか。

<回答>

和歌山県田辺市では、「世界遺産等を活かした魅力あるまちづくり基本計画」を策定し、世界遺産(熊野古道)を核として地域資源を活かした魅力あるまちづくりに取り組んでおり、当該計画においてDMOは、田辺市及び各地域の観光協会と連携・協力しながら、国内外への情報発信や着地型旅行業、国内外の旅行者に対する現地の対応強化、観光人材の育成などの中核を担うこととしている。

<質問項目②>

・対象区域の自治体等における地域自らを客観的に把握するための基礎的な取組(宿泊統計等各種統計や多言語案内等の受入環境の整備等)について、DMOの立場からどのようにご覧になっていますか。自治体等に期待する点、改善点等があれば具体的にお願いします。

<回答>

統計データについては、宿泊客数及び日帰り客数のデータはあるが、例えば旅行者が当地域で何泊したか、特に外国人旅行者については、どのような経路で当地域を訪れたか(入出国の利用空港、他の訪問エリア等)などの詳しいデータがない。これらのデータがあれば、さらに効果的なプロモーションが可能になると思われる。案内表示の外国語併記など受入環境の整備等については10年以上前から取り組んでおり、現在は概ね整備できているものと認識している。

<質問項目③>

・観光協会や商工会議所等既存組織とDMOの行う事務・事業との役割分担が明確になされていますか。また、観光協会をベースとして発足したDMOの場合、どのような段取りで現在の組織・事業内容に至ったのか、これまでの観光協会の事務・事業と異なる点は具体的にどのようなものかをお聞かせください。

<回答>

市町村合併前の旧市町村単位の観光協会は、それぞれ地域での役割や観光協会の性格が異なっていたことから、合併せずにそのまま存続しており、「世界遺産・熊野古道」を軸とする熊野エリア全体の観光プロモーション団体として、新たにDMOを立ち上げた。新たなDMOの役割は、主に「世界遺産・熊野古道」を海外に向けてプロモーションをすることと、誘客にむけた旅行予約サイトを運営している。

<質問項目④>

・貴DMOが地域で果たすべき役割・仕事について、現在の役割・仕事の内容と、今後必要になってくるだろうとお考えの役割・仕事内容をお聞かせください。

<回答>

現在の業務は、①熊野エリア全体の国内外への観光プロモーション②受入環境の整備③着地型旅行業であり、地域の事業者と主に外国人旅行者を繋ぐ中間支援組織としての役割を担っている。今後の取組としては、着地型旅行業の視点では、熊野古道を歩く旅に加えて、地域でもう1泊、2泊滞在できるような、地元の観光資源を活かした体験型の商品開発と、地元の特産品を活かした商品開発を考えている。

<質問項目⑤-1>

・対象区域内で観光振興に関する多様な主体間の調整が必要となった場合、その合意形成プロセスにおいて、DMOはどのような役割を果たしていますか。例えば、自治体の観光部局以外との連携をDMOが担っているか、宿泊事業者、観光施設事業者などの民間事業者との連携をどのようにしているか等についてできる限り具体的な取組事例をお聞かせください。また、その際に課題と感じていらっしゃる点、特に留意されていること等についてお聞かせください。

<回答>

弊社の理事には、合併前の5つの観光協会の役員や、田辺市役所の観光担当部長も就任している。また、事務局長と事務局次長ともに田辺市からの出向職員であることから、官民協働の体制であるために地域と行政の風通しは良い。このために地域内の観光振興の多様な主体間の調整は、地元目線に近い観光協会がDMOと同席のもとで行うために比較的スムーズに行われている。

具体的なケースとしては、荷物搬送事業者がお客様の荷物を宿泊施設に送り届けるにあたっての、搬入時間が宿泊施設毎に違うために、混乱が生じたケースの場合は、DMOがそれぞれの事業者の聞き取りを行い、妥協点を見出し両者の調整を行ったこともある。

その際に留意すべきことは、お互いの立場を理解し合うことに尽きる。

<質問項目⑤-2>

・DMOの活動を地域で認知していただくための具体的な取組みについてお聞かせください。特に地域住民や資金の提供元の団体(自治体、会員等)に対する説明や対話はどのように行っていますか。また、その際に課題と感じていらっしゃる点、特に留意されていること等についてお聞かせください。

<回答>

法人設立以降、弊社は旅行予約サイトを通じて事前に宿泊施設等を予約しているお客様に当地域に来ていただいていた。しかし、ここ数年ノーブランチで来られる旅行者が増えてきたために、昨年8月に、弊社の実店舗「熊野トラベル」をJR紀伊田辺駅前商店街にオープンさせ、トラベルカウンターを設け当日の予約を可能とした。この「熊野トラベル」出店を契機に、弊社の取組が市民にも見えるようになった。また、商店街の中に店舗を構えたことにより、地域の様々な行事やイベントにも参画する機会を得て市民向けにも情報発信の場もなっている。

<質問項目⑤-3>

・対象区域にある他の「広域連携DMO」、「地域連携DMO」、「地域DMO」と事務・事業の重複等がないように具体的な調整をどのように行っていますか、その際に課題と感じていらっしゃる点、特に留意されていること等についてお聞かせください。

<回答>

対象区域内には現在、他のDMOはないが、和歌山県内にはいくつかのDMOがある。今後は、DMO間の連携を視野に入れて、商品の相互販売が進めば効果的であると考える。

<質問項目⑥-1>

・地域がDMOを通じて実現しようとしているビジネスモデル(旅行者の体験・滞在により地域の経済循環を生み出す仕組み)は具体的にどのようなものでしょうか。KPIIはどのような考え方で設定し、どのように活用していますか。また、観光庁に届け出ているKPIIのほか、独自で設定しているものがあれば、具体的にお聞かせください。

<回答>

主に「巡礼」や「トレッキング」を切り口としたプロモーションを行い、数日に渡って地域に滞在する「熊野古道ウォーク」による誘客を推進している。

持続可能な観光地を目指すためには、地域への経済効果が重要であることから、KPIIについては、経済効果に直結する「宿泊者数」と「旅行消費額」を指標項目としている。

<質問項目⑥-2>

・ビジネスモデルが来訪者の経験価値向上を高めるための具体的な取組みにまで落とし込まれていますか。取組主体、取組内容、スケジュール、評価等の一連のプロセスについてDMOが全体を把握できる仕組みと なっていますか。

<回答>

宿泊予約サイトでご予約いただいた旅行者には、旅行終了後にEメールでアンケートを取っている。利用した宿泊施設や旅のプランなどに意見をいただき、それを事業者にフィードバックし、評価が低い点は改善していくことを事業者とともに取り組んでいる。さらに、事業者を個別訪問し、旅行者への注文や、DMOへの意見などをいただき、共通の課題として受け止めるように心がけている。

<質問項目⑥-3>

・ビジネスモデルの構築、実行に際して、課題と感じていらっしゃる点、特に留意されていること等についてお聞かせください。

<回答>

主力商品は、「熊野古道」を歩いてもらう旅である。山の中の小さな民宿などを泊まりながら歩き続けるために、繁忙期(春:3~5月、秋:9月~11月)には、宿泊の予約が取れない状況となり、断るケースも出ている。地域全体の事を考えると、現在のキャパが必要と供給のバランスがギリギリ取れている感じである。宿泊施設を増やすことで、一方では観光公害の心配も出てくることから、この見極めはDMOの視点からもしっかり考えて行かなければならない。宿泊施設の課題としては経営者の高齢化、後継者不足。また、繁忙期などの働き手の不足は深刻で、部屋は開いているが従業員が確保出来ず受け入れられないケースも出てきている。

<質問項目⑦-1>

・DMOの財源や人材の確保についての現在の具体的な取組状況をお聞かせください。その際、課題と感じていらっしゃる点、特に留意されていること等についてもお聞かせください。

<回答>

財源としては、田辺市からの観光プロモーション委託料と着地型旅行業の収益を柱として運営している。人材については、着地型旅行業の利用者はインバウンドが中心となるため、英語対応が可能なスタッフを雇用しており、また田辺市からも職員が派遣されている。着地型旅行業の取扱高が年々増加していることについてはスタッフの増員により対応しているが、地方で英語対応が可能なスタッフを随時確保していくことは困難。また、事務局運営は田辺市からの派遣職員が主に担当しているが、当該職員は人事異動により入れ替わるため(最長5年)、今後はDMOの中長期的な取組方針や運営等を考えいく必要があることからすると、専務理事のような立場で事務局運営に携わることができるDMOの職員を雇用する必要がある。

<質問項目⑦-2>

・DMOの財源をはじめとする経営資源のあり方はどのようにあるべきとお考えですか。予算制約がないと仮定した場合の理想と現状との対比という形でできる限り具体的にお聞かせください。

<回答>

弊社の目的は、半官半民のDMOとして主に海外からの旅行者と地域の事業者(宿泊施設等)を繋ぐ中間支援組織であり、利益最優先では無く、地域振興に軸足を置いている。現在の売上は4億円弱であるが純利益は数百万円に留まっている。加えて、田辺市からのプロモーション委託料3,500万円と事務局職員2名は田辺市からの出向であり、この人件費を含めれば赤字経営である。DMOの組織を持続させるには、人材確保と安定した財源確保が必要である。予算制限がないと仮定すれば、人材面ではマーケティング担当、財務担当、CEOなど組織をマネジメント出来る専門職員の配置が理想と考える。

<質問項目⑦-3>

・DMOの財源確保の観点で、国や自治体に求める役割や機能をどのように考えていらっしゃいますか。具体的に お聞かせください。

<回答>

地方都市では確保できない、上記専門職員の雇用に対する財政支援や、人材の斡旋、紹介を期待する。

日本版DMO形成・確立計画

1. 日本版DMOの組織

申請区分	広域連携DMO・地域連携DMO(地域DMO)	
日本版DMO候補法人の名称	(一社) 田辺市熊野ツーリズムビューロー	
マーケティング・マネジメント対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 和歌山県田辺市	
所在地	和歌山県田辺市	
設立時期	平成 18 年 4 月 1 日 ※法人化(一般社団法人)は平成 22 年 5 月	
職員数	13 人 ※市からの出向者含む(平成 27 年 12 月末現在)	
代表者(トップ人材:法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者)	(氏名) 多田 稔子 (出身組織名) ・田辺市熊野ツーリズムビューロー会長 ・田辺観光協会常任理事	平成 17 年から 20 年度まで、田辺観光協会(市町村合併以前は田辺市観光協会)の会長として、また、田辺市熊野ツーリズムビューロー設立以降(平成 18 年 4 月以降)現在に至るまで、同団体の会長を務め、旧の田辺市はもとより、現在の田辺市の総合的な観光振興に尽力。在任期間中、様々な取組で成果を挙げている。
各部門(各種データの分析・収集)の責任者(専門人材)	(氏名) 村本 真人「専従」 (出身組織名) 田辺市役所より出向	平成 28 年より田辺市熊野ツーリズムビューローに出向。事務局長として、世界遺産・熊野古道を軸とした着地型観光の推進、サンティアゴ・デ・コンポステーラ市観光局(スペイン)との共同プロモーション等、観光振興及びインバウンドの推進に取り組んでいる。
各部門(プロモーション)の責任者(専門人材)	(氏名) ブラッド・トウル「専従」 (出身組織名) プロパー(田辺市熊野ツーリズムビューロー)	田辺市熊野ツーリズムビューロー設立(平成 18 年 4 月)に伴い、国際観光推進員として採用。プロモーション事業部長として、国内はもちろん、特に海外プロモーション・インバウンドの推進に尽力。
各部門(旅行商品の造成・販売)の責任者(専門人材)	(氏名) 松前 鈴佳「専従」 (出身組織名) プロパー(田辺市熊野ツーリズムビューロー)	国内旅行業務取扱管理者の資格を持ち、域内の観光資源を繋げた「着地型旅行プラン」の造成等、地元ならではの旅行プラン・観光素材をお客様に提供している。
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	田辺市観光振興課	

連携する事業者名及び役割	田辺市並びに県内市町村及び隣接県の宿泊・交通等観光関連事業者等 田辺市熊野ツーリズムビューローの旅行予約サイト(インターネット)に旅行商品を提供。田辺市熊野ツーリズムビューローの賛助会員として契約を締結している。※賛助会員数は138(平成27年12月末現在)
官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	(該当する要件) 田辺市熊野ツーリズムビューローは、田辺市内5つの観光協会(田辺・龍神・中辺路・大塔・本宮)で組織されており、組織内の最高意思決定機関は「社員総会」である。※5観光協会が社員資格を有している。 また、各観光協会から2名ずつの理事を選出いただくとともに、外部理事として市役所から1名、学識経験者1名(大学教授)を選任し、理事会を設置。日常的な業務の調整とそれぞれの見地から助言をいただいている。 さらに、賛助会員間の情報共有、田辺市熊野ツーリズムビューローへのご意見・提案等をいただくための会議を設けている。
法人のこれまでの活動実績	(活動の概要) 田辺市熊野ツーリズムビューローは、平成18年4月、田辺市の総合的な観光プロモーションを実施するために設立され、質の高い地域・観光情報の発信と、受入地としてのレベルアップを担ってきた。特に、ユネスコの世界文化遺産に登録されている「紀伊山地の霊場と参詣道」を活動の軸に据えていることが大きな特徴であり、平成22年には旅行業を立ち上げ、「観光プロモーション」に加えて「着地型観光(旅行業)」を柱に据え、国内外からの個人旅行者をメインターゲットとした情報発信と誘客促進に取り組んできた。 また、これらの取組を通じて、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の国内外への認知度アップをはじめ、新たな観光資源・地域資源の発掘とブラッシュアップ、更には、旅行者と地域とを繋ぐパイプ役(中間支援組織)の役割を果たしている。 加えて、田辺市が平成26年5月、世界文化遺産「サンティアゴ巡礼道」を有するスペイン・ガリシア州サンティアゴ・デ・コンポステーラ市と観光交流協定を締結し、観光を中心とした交流を始めたが、この協定の締結にも、田辺市熊野ツーリズムビューローの活動が大きな役割を果たした。 ■観光の基本スタンス(コンセプト) ◇「ブーム」より「ルーツ」 ◇「乱開発」より「保全・保存」 ◇「マス」より「個人」 ◇世界に開かれた「上質な観光地」→インバウンドの推進 ※インバウンドの推進 欧米豪をメインターゲットに! ■取組①「情報の整理と発信(観光プロモーション)」 上記コンセプトの基、広域的・世界的な視野に立ち、 ◇ホームページやパンフレットなどの多言語化 ※ホームページは6言語対応 ◇国内外のプレスツアーやエージェントファムの誘致 ◇サンティアゴ・デ・コンポステーラ市との共同プロモーション

	<p>◇熊野古道案内看板の統一 ◇観光施設内展示物等の英語併記 ◇国内外の観光商談会への参加 ◇各種観光イベントや首都圏駅構内等での観光プロモーション ◇ポスターやチラシ等を利用した観光プロモーション 等、「世界標準の観光地」を目指し、行政や観光協会、民間事業者とも協働し様々な事業に取り組んだ。</p> <p>■取組②「受入地整備とコミュニケーションツールの作成」 多額のお金と時間を掛けてハード整備を行い、情報発信に成功し誘客に結び付けたとしても、受入地のホスピタリティ（おもてなしの精神）が欠落していれば、当地に二度と来てもらえない。それどころか、インターネットなどを通じて悪い口コミが世界中に広まってしまう。 そこで、日本人はもとより外国人旅行者を視野に入れ、業種別にカリキュラムを設け、受入地としてのきめ細かなレベルアップ研修を行った。そして、この研修への参加者が実体験をもとに意見を出し合い、受入側とお客とを繋ぐコミュニケーションツールとして「指さしツール」を作成した。 また、お客の利便性を考え、グルメマップや居酒屋メニュー、同地域内で数社が運行するバス時刻表を1枚のシートにまとめるなど、日英併記のツールも作成した。</p> <p>■取組③「着地型旅行業」 ソフト・ハード面で受入地としての環境が整ってきた一方で、お客様の旅行形態に目を向けると、欧米諸国はもとより日本においても「団体旅行」から「個人旅行」へとの変化が見られ、それに伴うニーズの多様化・個性化に対応できるよう、着地（地元）での現地情報やネットワークを活かしたきめ細かなサポートが求められるようになってきた。こうした変化に対応するため、これまでの「情報発信」や「受入地整備」に加え、観光資源を繋ぎ、実際に旅行商品として販売するとともに、お客様を現地まで運んでくる仕組みづくりが必要だとの結論に至った。そして、平成22年7月、従来の「発地型」ではない地域に根差した地元ならではの「着地型の旅行会社」を立ち上げた。</p>
--	---

(定量的な評価)

■ 旅行業務取扱状況

田辺市熊野ツーリズムビューロー 旅行業務取扱状況

平成23年度
(2011.04～2011.03)

■ インターネット予約システム

	件数	人数
国内	120	260
海外	110	168
合計	230	451
売上	7,957,976	

■ インターネット予約システム以外
※エーワンネット、国旅、窓口ほか

	件数	人数
国内	214	1,353
海外	20	103
合計	240	1,456
売上	32,955,338	

■ トータル

	件数	人数
国内	342	1,616
海外	130	281
合計	478	1,907
売上	40,913,314	

平成24年度
(2012.04～2012.03)

■ インターネット予約システム

	件数	人数
国内	205	518
海外	724	1,054
合計	991	1,572
売上	29,290,929	

■ インターネット予約システム以外
※エーワンネット、国旅、窓口ほか

	件数	人数
国内	221	945
海外	28	105
合計	249	1,050
売上	16,195,430	

■ トータル

	件数	人数
国内	486	1,463
海外	754	1,159
合計	1,240	2,622
売上	45,494,359	

平成25年度
(2013.04～2013.03)

■ インターネット予約システム

	件数	人数
国内	450	845
海外	1,420	2,030
合計	1,882	2,875
売上	58,360,464	

■ インターネット予約システム以外
※エーワンネット、国旅、窓口ほか

	件数	人数
国内	315	1,758
海外	109	375
合計	424	2,133
売上	31,812,068	

■ トータル

	件数	人数
国内	771	2,063
海外	1,535	2,405
合計	2,306	5,008
売上	89,973,012	

平成26年度
(2014.04～2014.03)

■ インターネット予約システム

	件数	人数
国内	810	1,089
海外	2,218	3,004
合計	2,828	4,153
売上	97,690,781	

■ インターネット予約システム以外
※エーワンネット、国旅、窓口ほか

	件数	人数
国内	349	2,629
海外	122	505
合計	471	2,534
売上	47,860,519	

■ トータル

	件数	人数
国内	959	3,118
海外	2,340	3,509
合計	3,299	6,687
売上	145,559,300	

■旅行業の取扱状況（詳細）

インターネット予約システム利用状況（平成26年度）

インターネット予約システム利用状況（詳細）

利用件数（うち障害件数）	2,828（2,529）		
利用人数（うち障害人数）	4,153（3,516）		
1件あたりの単価	34,594円	国内22,176円	海外31,940円
1人あたりの単価	23,522円	国内12,422円	海外21,471円
合計宿泊数（件×人）	8,118泊		
1件あたりの平均宿泊数	3.01件	国内2.57泊	海外3.88泊
1人あたりの平均宿泊数	2.29泊	国内1.44泊	海外2.80泊

インターネット予約システム利用者のお出身エリア（宿泊分のみ）

国	件数	人数	国	件数	人数
1 日本	523	931	26 ニュージーランド	6	23
2 オーストラリア	342	476	27 ニュージーランド	6	6
3 アメリカ	284	399	28 フィリピン	7	19
4 イギリス	173	248	29 ノルウェー	7	17
5 スペイン	166	235	30 メキシコ	5	9
6 フランス	139	242	31 アイルランド	5	9
7 ドイツ	107	155	32 ポルトガル	4	6
8 カナダ	101	130	33 チェコ	3	9
9 スイス	74	98	34 ロシア	3	5
10 オランダ	72	113	35 スロバキア	3	3
11 香港	6	88	36 インド	2	4
12 シンガポール	96	97	37 ポーランド	2	3
13 ベルギー	45	62	38 南アフリカ	2	2
14 イタリア	42	59	39 インドネシア	2	2
15 スウェーデン	39	46	40 グアテマラ	2	2
16 タイ	26	72	41 ギリシャ	2	2
17 中国	21	34	42 コロンビア	2	1
18 イスラエル	17	26	43 マルタ	1	3
19 台湾	13	25	44 ルクセンブルク	1	2
20 マレーシア	12	19	45 カタール	1	2
21 ブラジル	12	12	46 リヒテンシュタイン	1	1
22 韓国	11	16	47 アラブ首長国連邦	1	1
23 フィンランド	11	13	48 アルゼンチン	1	1
24 オーストラリア	9	12	49 ラトビア	1	1
25 デンマーク	9	12	50 日本在住（国籍不明）	60	134
			合計	2,829	3,918

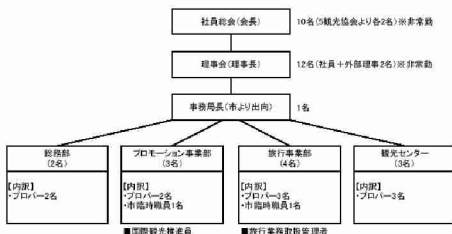
宿泊利用履歴状況（インターネット予約のみ）※延べ宿泊数8,118泊の内訳

エリア	泊数	エリア	泊数
1 本宮	3,200	7 千津川・三浦口ほか(奈良)	172
①道の駅 ②川島 ③水宮 ④道尾	1,251 2,611 3,275 462	8 龍神	113
9 中坊	2,412	9 白沢	91
①北宮・野中 ②滝元・高宮	1,166 2,727	10 車庫・古賀川	82
3 基督旗本・新宮	988	11 犀原・船野(三重)	20
4 田辺	948	12 和歌山市	12
5 熊野川・山口(新宮)	506	13 その他	17
高野山	476	合計	8,118

(実施体制図)

■田辺市熊野ツーリズムビューロー組織図及び中間支援組織としての役割り(体系)

田辺市熊野ツーリズムビューロー組織図

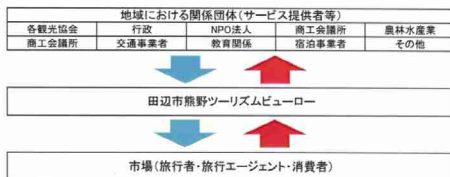


【事務局長員構成】

- 市職員…1名
- 市臨時職員…2名
- プロパー…10名

実施体制

田辺市熊野ツーリズムビューロー中間支援組織としての役割り(体系)



- 地域間連携と地元からの情報の整理・発信
- 市場動向・ニーズの調査・把握
- 言葉の壁(外国語(主に英語)⇄日本語)の除去
- 各地の観光・地域資源を結び付け、旅行商品としての造成・販売
- 決済(手配及びキャンセル料等の取受)のスムーズ化 ※カードによる事前決済

2. 日本版DMO候補法人がマーケティング・マネジメントする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】

■連携エリア



自治体レベルでの強い連携は田辺市のみだが、事業者間では下記エリアにおいて連携済である。
(平成 27 年 12 月末現在)

(和歌山県)

田辺市、和歌山市、新宮市、みなべ町、白浜町、那智勝浦町、太地町、古座川町、串本町、湯浅町、高野町、北山村

(奈良県)

十津川村、野迫川村、明日香村

(三重県)

熊野市、尾鷲市

■契約事業者

契約事業者リスト

契約事業者数 143 件(実契約者数 138)

☆は、契約業種が複数ある場合のメイン事業

★は、その他の事業

No.	エリア	宿泊施設
1	本宮	富士屋
2		☆ 民宿 大村屋
3		ホテル浦島チェーン(株)山水館川湯みどりや・山水館川湯まつや
4		亀屋旅館
5		民宿こぶち
6		ペンションあしたの森
7		民宿すみや
8		民宿あたらしや
9		民宿くらや
10		民宿てるてや
11		民宿湯の谷荘
12		(有)湯の峯が好き(湯の峯荘)
13		民宿やまね
14		旅館あづまや
15		民宿あづまや荘
16		民宿 小栗屋
17		よしのや旅館
18		旅人の宿 蒼空げすとはうす
19		かわたらせ温泉
20		熊野古道の宿 れいめい
21	龍神	榊龍神温泉 上御殿
22		榊丸井旅館(まごころの宿 丸井)
23		季楽里 龍神
24		民宿旅館ささゆり
25		旅館さかい
26		美人亭
27		民宿せせらぎ
28		龍神温泉元湯別館

(別添) 様式 1

29		下御殿
30		民宿龍神
31	中辺路	キャンブランドHRK
32		民宿ちかつゆ
33		山の宿 夢木楽
34		霧の郷たかはら
35		熊野古道いろり庵
36		民宿のなか山荘
37		お宿 月の家
38		民宿つぎざくら
39		民宿 天空のさと山
40		民宿なかの
41	田辺	ペンション シロギス
42		紀伊田辺シティプラザホテル
43		未来農園
44		ホテル花屋
45		橿東急リゾートサービスホテルハーヴェスト南紀田辺
46		てんつくゲストハウス
47		美吉屋旅館
48		アルティエ株式会社
49		☆ 橿秋津野 秋津野ガルテン
50		☆ 農家民泊 かしわざみかん
51	南紀みらい橿 紺屋町家	
52	大塔	☆ 橿キナン親興 山遊館
53		鮎川山荘
54	和歌山市	ダイワロイネットホテル和歌山
55		和歌山マリーナシティロイヤルバインズホテル
56	高野町	宗教法人 不動院
57		宗教法人 無量光院
58		宗教法人 南院
59		株式会社 DUT (高野山ゲストハウス kokuu)
60	湯浅町	湯浅温泉 湯浅城
61	みなべ町	大和リゾート株式会社 紀州南部ロイヤルホテル
62	白浜町	橿明光弘済会 (民営国民宿舎ホテル明光)
63		橿明光弘済会 (旅館 万亭)
64		(有)柳屋 家族とすごす白浜の宿 柳屋
65		梅樽温泉 ホテル シーモア

(別添) 様式 1

66		紀州・白浜温泉 むさし
67		榊フリーゲート白浜
68		ホテルラフォーレ南紀白浜
69		民営国民宿舎ホテル シラハマ
70		榊三楽荘 (ホテル三楽荘)
71		癒しの宿 クアハウス白浜
72	串本町	榊あらふねリゾート 国民宿舎あらふねリゾート
73		民宿 百福
74		熊野川温泉さつき
75		熊野川町を活性化する会 (小口自然の家)
76		ホテルシャルモント
77		榊中の島 (中の島)
78		榊勝浦御苑 (かつうら御苑)
79		(有) 若竹商事 温泉民宿わかたけ
80	新宮市	美滝山荘
81	那智勝浦町	浦島観光ホテル(株) ホテル浦島
82	太地町	ホテル ホリスティック リゾート
83		サンシャインホテル
84		新宮ユーアイホテル
85		温泉民宿 小阪屋
86		お宿 はな
87		高田グリーンランド・雲取温泉
88		休暇村 南紀勝浦
89	古座川町	南紀月の瀬温泉ぼたん荘
90	北山村	おくとろ温泉やまのやど
91		十津川観光開発株式会社 十津川温泉ホテル昂
92		民宿 岡田
93		民宿かわらび荘
94	十津川村	農家民宿 政所
95	野迫川村	田花館
96		農家民宿 山本
97		榊のせ川びれっち (ホテルのせ川)
98	奈良県	ゆるりや「あすかで民泊」
99		とまりゃんせ「あすかで民泊」
100	三重県	風帆
101		里創人 熊野倶楽部

(別添) 様式 1

No.	エリア	ツアー
1	本宮	熊野本宮語り部の会
2		特定非営利活動法人熊野で健康ラボ
3		時代衣装 熊代屋
4	中辺路	熊野三日月語り部の会
5		中辺路語り部の会 NPO 法人 漂探古道
6		うた加楽衆
7		中辺路陶芸館
8	田辺	NPO 法人 Mi・Kumano
9		マリンワールド田辺
10		★ 榎秋津野 秋津野ガルテン
11		★ 農家民泊 かしわざみかん
12		田辺国際英語ガイドの会
13		田辺観光ボランティアガイドの会
14		熊野トレック
15		CrossRhodes English クロスローズ イングリッシュ
16	大塔	熊野 百間溪谷自然学校
17		★ 榎キナン親興 山遊館
18	白浜町	株式会社フィッシャーマン
19	串本町	榎串本海中公園センター
20	新宮市 那智勝浦町	財団法人 熊野川町ふれあい公社 熊野川川舟センター
21		★ 熊野交通株式会社
22		熊野・那智ガイドの会
23		南紀マリンレジャーサービス
24		新宮市観光ガイドの会
25	みなべ町	株式会社 岩本食品

No.	エリア	サービス
1	本宮	★ 民宿 大村屋
2		NPO 法人熊野本宮レンタサイクル熊野本宮御用馬
3		宝月自動車有限会社
4	中辺路	いっぽう杉
5		YAMA-シャトルサービス
6		野中配送サービス
7		古道の社 搬送サービス Kodo-no-Mori Luggage Shuttle
8		飛脚 まるお

(別添) 様式 1

9		龍神自動車株
10	田辺	JR 西日本レンタカー&リース株紀伊田辺営業所
11		味三味 田辺本店 (有限会社 矢野)
12	大塔	道の駅ふるさとセンター大塔
13		有限会社 谷口自動車
14	白浜	白浜観光第一交通株
15		白浜第一交通株
16	新宮市	☆ 熊野交通株式会社
17	みなべ町	合名会社 南部タクシー

【区域設定の考え方】

自治体レベルでの連携は田辺市のみとなるが、当地域の観光資源の核となる「世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道（熊野古道）』」を旅行商品として造成するためには、和歌山県・奈良県・三重県の宿泊施設等との連携が不可欠となる。つまり、点を線として結び、面として展開することが必要である。また、お客様目線で「旅」を考えたとき、県や市町村の境界などは意味を持たず、「選ばれる」そして「持続的な」観光地となるためには、広域的な視点での取組が重要となる。

【観光客の実態等】

紀伊半島（紀南地方）に旅行される方のほとんどは、1地点だけの観光に留まらない。特に、海外からの旅行者にとっては、和歌山県も奈良県も三重県も同一エリアであり、日本人に比べ滞在期間が長くその傾向は顕著である。

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

- 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道（熊野古道）」
- 海・山・川等の自然とそれら自然からもたらされた産物（海産物・梅・みかん等）
- 吉野・熊野国立公園の拡張（登録）
- 国体開催に伴い整備されたスポーツ施設
- 世界農業遺産登録

【利便性：区域までの交通、域内交通】

- 電車…JR 新大阪駅から紀伊田辺駅まで約2時間
- 自動車…大阪から阪和自動車道経由で南紀田辺インターチェンジまで約140km、約2時間
- 飛行機…羽田空港から南紀白浜空港まで約70分
南紀白浜空港から路線バスでJR 紀伊田辺駅まで約40分
- その他、域内の交通はJR、路線バス、タクシー ※JRは海岸線沿いのみ

【外国人観光客への対応】

- 多言語のパンフレット及びホームページ
- マップ・案内看板・説明看板・展示物等日英併記
- コミュニケーションツール（エリアマップ、指さしツール）の制作・活用
- 音声ガイド
- インターネットからの旅行予約（英語対応）
- 観光センターでの英語対応
- ベジタリアン対応等、外国人観光客受入体制の強化

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
外国人の出身地、エリア、目的、人数、交通手段（国内での動き）等を調査	国、年代、目的等、外国人観光客のニーズ・動向調査	宿泊施設にご協力いただき、アンケート形式（記入式）で回答いただく。
予約システム（インターネット）を利用して旅行いただいたお客様に、旅行終了後、感想（レビュー）を書いていただく。	受入地としてのサービス・おもてなし向上と、お客様のニーズ調査。	メールでの回答。
観光地としての認知度、旅の目的、きっかけ、男女別、年齢層、旅の形式（団体・個人）等	お客様のニーズ・動向調査	観光イベント等でのアンケート形式による情報の収集。

4. 戦略

(1) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	<p>強み (Strengths)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」 ・日本の原風景 ・「海」「山」「川」の自然、歴史、温泉、人、「梅」や「みかん」の特産品 ・案内看板等外国人受入体制の整備 ・宿泊、体験、お弁当等ワンストップで手配 ・インターネットによる旅行予約・決済 ・日本語、英語による予約受付 ・高野熊野特区ガイド 	<p>弱み (Weaknesses)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通網の整備不足 路線バス等二次交通 ・観光関連事業者（宿泊施設・語り部等）の高齢化（長期的課題）
外部環境	<p>機会 (Opportunity)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産登録（追加登録） ・吉野・熊野国立公園の拡張（海岸沿い） ・世界農業遺産登録（梅産業） ・国体後の施設活用 ・南紀白浜空港の活用 	<p>脅威 (Threat)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境（台風） ・事業進出及び観光客増加に伴う、ブランド（受け入れ体制やおもてなし意識等）の低下

(2) ターゲット

○ターゲット層（日本） 首都圏・関西圏
○選定の理由、○取組方針 他地域と比較して、当該地域からのお客様が多い。「世界遺産ブランド」「ウォーク」「温泉」「自然」「食」といったこの地域ならではのコンテンツをブラッシュアップし、誘客に結びつける。
○ターゲット層（海外） 欧・米・豪のFIT（個人旅行者）

○選定の理由、○取組方針

田辺市を含むいわゆる「熊野地域」には、日本の自然・歴史・文化、いわゆる「日本の原風景」が色濃く残る地域である。また、地域の特性を鑑みたとし、「神仏習合」や「自然崇拜」といった日本の精神文化が存在する。これらが欧・米・豪の旅慣れた人々（FIT）の知的好奇心を刺激し、さらには、「世界遺産ブランド」「温泉」「ウォーク」といったコンテンツも、同地域の旅行者に受けるであろうと考え、「インバウンド＝すべての国」へのアプローチではなく、「インバウンド＝欧・米・豪」とターゲットを絞った。

(3) コンセプト

①コンセプト

1. 「ブーム」より「ルーツ」
2. 「乱開発」より「保全・保存」
3. 「マス」より「個人」
4. 世界に開かれた「上質な観光地」 →インバウンドの推進

②コンセプトの考え方

1. 「ブーム」より「ルーツ」

2004年の世界遺産登録後、そのブランド力も手伝って、国内外からのお客様が急激に増加した。しかし、そのような一時的・短期的な「ブーム」に踊らされるのではなく、先人達が残してくれた遺産や文化を大切にし、なぜ世界遺産に登録されたのかという歴史や背景、その「ルーツ」を大切に観光振興を推進する。

2. 「乱開発」より「保全・保存」

観光客の増加＝観光・宿泊施設の建設（ハード整備）ではなく、やはり観光資源を活用する前提として、まずは「保全・保存」の観点が大切であり、逆に、きちんと「保全・保存」ができていればこそ、世界遺産の価値が守られ、観光活用が可能になるとも言える。一見、相反するように思える「活用」と「保全・保存」だが、そのバランスを保つことが、持続可能な観光地を目指す上で最も重要なことであると考えます。

3. 「マス」より「個人」

一昔前の旅行形態に見られるようなお客様（例：バスを仕立てた団体旅行等）も大切であるが、目的意識を持った個人旅行者をターゲットとした観光戦略を打ち出す必要がある。「熊野」というフィールドを考えたとき、今後そうしたお客様が増えるであろうし、国内はもとより海外にも目を向けたプロモーションが必要となる。

4. 世界に開かれた「上質な観光地」 →インバウンドの推進

「世界遺産」という冠（ブランド）は、世界に向けた情報発信・プロモーションを行う上で、この上ないチャンスである。日本の人口減が現実視される中、インバウンドの推進は必要不可欠である。

インバウンドの推進に当たり、一括りに外国人と言っても趣味趣向・文化度が違えば、行動パターンも異なる。その実態を知ることで、「熊野」にはどんな旅行者が向いているのか、またどの国をターゲットとすれば良いのかといったことを明確にするため、統計調査やお客様・事業者からのアンケートをもとにした外国人旅行者の動態・ニーズの把握に努めた。そして、具体的なインバウンドの戦略を立て、「欧・米・豪」をターゲットとしたインバウンドを進めることとなった。

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有①	田辺市（行政）から田辺市熊野ツーリズムビューローへ職員を派遣。市と田辺市熊野ツーリズムビューローの連携を密にし、市の観光施策（アクションプラン）等も反映した形での事業実施が可能。
戦略の多様な関係者との共有②	受入地としてのレベルアップのため、観光関連事業者向けセミナーを延べ60回以上実施。実施にあたっては、業種ごとに課題は異なるだろうとの見地から、事業別（例えば、宿泊事業者だけ、交通事業者だけを対象等）に細分化した形式で開催。
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	予約システム（インターネット）を利用して旅行いただいたお客様に、旅行終了後、感想（レビュー）を書いていただき、ご意見を公開するとともに、各事業者にもフィードバックし、受入地としてのレベルアップに繋げている。
一元的な情報発信・プロモーション①	田辺市の観光プロモーションを田辺市熊野ツーリズムビューローに委託。パンフレット作成、HPでの情報発信、SNS等の活用、プレス・ファームツアーの実施、観光関連イベント等での情報発信等を総合的に実施。
一元的な情報発信・プロモーション②	プロモーションの一環として「着地型観光（旅行業）」を実施。旅の予約（宿、交通、体験、お弁当等）をワンストップで手配可能。また、英語での予約が可能であり、インバウンドに対応したシステムとなっている。

6. KPI（実績・目標）

(1) 必須KPI

	単位	24年 (度) 実績	25年 (度) 実績	26年 (度) 実績	27年 (度) 目標値	28年 (度) 目標値	29年 (度) 目標値
●旅行消費額		— (—)	— (—)	— (—)	243 (3.3)	247(3.4)	251(3.5)
●延べ宿泊者数	人	331,801 (3,389)	362,870 (5,480)	415,164 (11,852)	423,400 (12,000)	431,800 (12,300)	440,200 (12,700)
●来訪者満足度		— (—)	— (—)	— (—)	40 (50)	45 (55)	50 (60)
●リピーター率		— (—)	— (—)	— (—)	50 (20)	53 (22)	55 (23)

※田辺市の実績及び目標値

※旅行消費額での外国人数値については、宿泊客数の数値をもとに金額を算出

(別添) 様式 1

(2) その他の目標

	単位	24年 (度)実績	25年 (度)実績	26年 (度)実績	27年 (度)目標値	28年 (度)目標値	29年 (度)目標値
●ワンストップ窓口での予約金額：(1人あたりの単価)	円	18,637 (23,059)	20,299 (24,400)	23,525 (27,471)	24,500 (28,000)	25,500 (29,000)	26,500 (30,000)
●ワンストップ窓口での予約数(延べ)	人	2,622 (1,159)	5,008 (2,405)	6,687 (3,569)	8,000 (4,500)	8,400 (4,600)	8,900 (4,800)

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

(1) 収入

年度	総収入(円)	内訳
24年度	104,340,160	【国・県からの補助金】14,755,978 【市からの委託金】29,000,000 【他市町村等からの負担金】630,000 【会費収入】902,500 【収益事業収入】48,817,813 【その他】10,233,869
25年度	139,397,403	【国・県からの補助金】600,000 【市からの委託金】37,200,000 【他市町村等からの負担金】630,000 【その他委託料】1,260,000 【会費収入】977,500 【収益事業収入】94,809,052 【その他】3,920,851
26年度	210,923,811	【国・県からの補助金】650,000 【市からの補助金・委託金】43,346,000 【他市町村等からの負担金】648,000 【その他委託料】1,960,000 【会費収入】930,000 【収益事業収入】152,447,661 【その他】10,942,150

(別添) 様式 1

27年度 (見込)	290,398,000	【市からの補助金・委託金】43,678,000 【他市町村等からの負担金】648,000 【その他委託料】23,672,000 【会費収入】930,000 【収益事業収入】214,800,000 【その他】6,670,000(円)
28年度 (見込)	252,530,000	【市からの補助金・委託金】42,600,000 【その他委託料】2,000,000 【会費収入】930,000 【収益事業収入】200,000,000 【その他】7,000,000(円)
29年度 (見込)	262,530,000	【市からの補助金・委託金】42,600,000 【その他委託料】2,000,000 【会費収入】930,000 【収益事業収入】210,000,000 【その他】7,000,000(円)

(2) 支出

年度	総支出	内訳
24年度	103,592,858	【事務局費】39,655,359 【事業費】63,937,499 うち観光プロモーション事業費 19,931,695
25年度	132,822,660	【事務局費】35,591,371 【事業費】97,232,589 うち観光プロモーション事業費 19,931,695
26年度	209,450,422	【事務局費】55,421,403 【事業費】154,029,019 うち観光プロモーション事業費 13,594,758
27年度 (見込)	288,110,000	【事務局費】61,248,000 【事業費】226,862,000 うち観光プロモーション事業費 8,770,000
28年度 (見込)	250,000,000	【事務局費】60,000,000 【事業費】190,000,000 うち観光プロモーション事業費 10,000,000
29年度 (見込)	260,000,000	【事務局費】63,000,000 【事業費】197,000,000 うち観光プロモーション事業費 10,000,000

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

現時点での収入源については、大きく分類して、田辺市からの「プロモーション委託」と「観光業」の二つとなる。

この二つのうち、田辺市からのプロモーション委託料については、今後、継続的・恒久的に確保できるとは限らず、また、少なくとも減額等を視野に入れて考えていかなければならない。そのような状況の中、旅行業による安定的な収入の確保とあわせて、商工会議所・民間事業者とも連携し、新たな指定管理の受託や物販における収入確保が課題である。

8. 日本版DMO形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

近年は世界的に、地域の自然や景観に配慮することはもちろん、そこに住む人びとに経済効果を与えながら旅行する「持続可能な観光」(サステナブルツーリズム)が求められている。

当地域には、世界遺産に代表される歴史や文化といった素晴らしい資源が数多く存在し、まずはこれら資源の「保全・保存」を念頭に置き、その上で観光活用を考えながら100年先・200年先を見据えた「世界に開かれた持続可能な観光地」を目指し、官民協働による観光施策を進めているところである。

また、世界的に見ても、旅行形態の変化や旅行者ニーズの多様化により、今後ますます観光地としての差別化・個性化が進むことが予想される中、田辺市熊野ツーリズムビューローは「観光」や「旅行」という概念だけではなく、「文化」を主体に地域全体をプロデュースし、交流人口を拡大するという「中間支援組織」としての役割を果たしている。

田辺市としては、田辺市熊野ツーリズムビューローを当市及び当エリアにおける(地域DMO)として登録したいことから同法人とともに申請します。

9. 記入担当者連絡先

担当者氏名	村本 真人
担当部署名(役職)	田辺市熊野ツーリズムビューロー 事務局長
所在地	和歌山県田辺市湊1番20号
電話番号(直通)	0739-26-9025
FAX番号	0739-26-5820
E-mail	muramoto@tb-kumano.jp

10. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	和歌山県田辺市
担当者氏名	小川 雅則
担当部署名(役職)	観光振興課 課長
所在地	和歌山県田辺市新屋敷町1番地
電話番号(直通)	0739-26-9929
FAX番号	0739-26-9903
E-mail	kankou@city.tanabe.lg.jp

【区域】 和歌山県田辺市

(表:実施体制)

(表:KPI(実績・目標))※()内は外国人に関するもの

【設立時期】 平成18年4月1日 ※法人化は22年5月

【代表者】 会長 多田稔子

【マーケティング責任者】 村本真人

【職員数】 13人

【連携する主な事業者】 市内5観光協会並びに、
県及び周辺市町村、各観光関連団体及び事業者

田辺市熊野ツーリズムビューロー中間支援組織としての役割り(体系)



■観光関連機関と地元からの情報の提供・発信
■観光関連機関との連携・情報
■観光協会の紹介(内閣府・国土交通省・国土交通省)の提供
■観光協会の観光・地域振興を促す旅行・旅行商品としての提供・販売
■観光協会の観光・地域振興を促す旅行・旅行商品としての提供・販売

	24年(度) 実績	25年(度) 実績	26年(度) 実績	27年(度) 目標値	28年(度) 目標値	29年(度) 目標値
旅行消費額	(-)	(-)	(-)	243 (3.3)	247 (3.4)	251 (3.5)
延べ宿泊者数	331,801 (3,389)	362,870 (5,480)	415,164 (11,852)	423,400 (12,000)	431,800 (12,300)	440,200 (12,700)
来訪者満足度	(-)	(-)	(-)	40 (50)	45 (55)	50 (60)
リピーター率	(-)	(-)	(-)	50 (20)	53 (22)	55 (23)

Aに関する取組を記載

- 受入地整備として、観光関連事業者ごとのレベルアップセミナーを実施。
- 宿泊・交通・体験等各事業者と連携し旅行商品を造成・販売。
- 事業者間の情報共有の機会を設けるとともに、お客様からのご意見を各事業者にフィードバック。

Bに関する取組を記載

- パンフレット・HP等の多言語による情報発信と「指さしツール」「エリアマップ」等コミュニケーションツールの作成。
- 田辺市観光センター、世界遺産熊野本宮館等案内施設での英語対応と展示物の日英併記。
- 国内外の個人旅行者をメインターゲットとした予約システムの構築。

Cに関する取組を記載

- 活用の前に、「保全・保存」を念頭においた取組。(例:「道普請ウォーク」等の保全活動)
- 文化の継承という観点から、観光と教育との連携。(例:「語り部ジュニア」の育成。地元高校生による、国内外の旅行者に対する案内業務ボランティア)

Dに関する取組を記載

- 田辺市はもとより、他県・周辺市町村とも連携し、共同プロモーション・旅行商品の造成等を実施。
- 広域観光としての「モデルコース」の提案
- 世界農業遺産登録、吉野・熊野国立公園登録(追加)等を機に、更なる広域連携と新たな観光資源の発掘。
- サンティアゴ・デ・コンポステーラ市との共同プロモーション。

